取説番号	８Ｅ８Ｈ１２３２

工事店様用

１６回線型電気錠操作盤
ＢＡＮ－ＡＳ１６
取付・調整　説明書

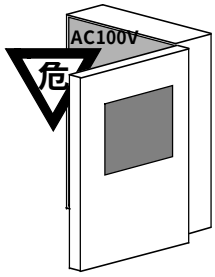
《工事店様へお願い》
取付・調整の後、本書をお客様にお渡しください

美和ロック株式会社

安全のために

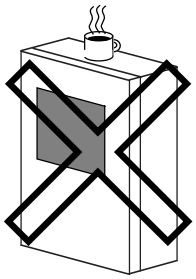
本装置は、１００ボルト電源（ＡＣ１００Ｖ）を使用します。感電・漏電・火災等の事故や、故障の元となりますので、ここに書かれている注意事項を必ずお守りください。

お客様へ



分解・取り外しや改造はしないでください！

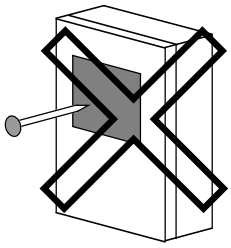
修理や移設・取り外しは、工事店様または弊社サービス店におまかせください。
発熱等の異常が発生した場合は、電源を切り、弊社へご連絡ください。



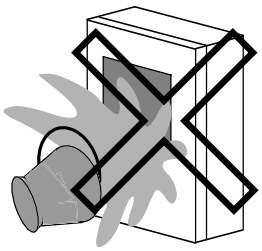
水などの液体をかけたり、水に濡れた手で触らないでください！

装置の中に、針やヘヤピンなどの金属類を差し込まないでください！

日常は、製品のフタを閉めてお使いください。



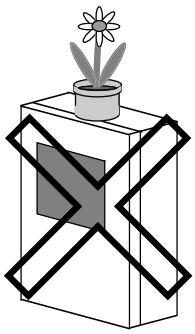
工事店様へ



電源の配線は特に注意して、抜け・ゆるみが無いように確実に結線してください！

ＡＣ１００Ｖ電源の工事は、電気工事士の資格所持者が行ってください。

雨や水のかかる場所・湿気の多い場所や、ホコリの多い場所には設置しないでください！



直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、高温となる場所には設置しないでください！

はじめに

このたびは、ＢＡＮ-ＡＳ１６（１６回線型電気錠操作盤）をご採用いただき誠に有難うございます。
この説明書は、ＢＡＮ-ＡＳ１６を取付けるときに注意していただきたいことを、書いてあります。
お客様に満足していただけるよう、本書に従い正しい手順通りの取付工事をお願いします。

［目次］

１．概要 ・・・

１．概要

（１）この操作盤１台で１～１６個の電気錠を操作・監視します。
※以後、接続する電気錠の個数を”回線”とします。（例：１６回線＝１６個の電気錠）

（２）１６回線内で、電気錠の機種と数量を自由に組み合わせることができます。
もし操作盤設置後に電気錠が変更になったとしても、容易に対応できます。

（３）２線変換アダプターを接続した電気錠（電気ストライク）を通線２線で制御します。

２．品物を確認する

下記品物、書類があることを確かめてから、取付作業を始めてください。

（１）１６回線型電気錠操作盤　ＢＡＮ－ＡＳ１６・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１台

（２）２線変換アダプター　ＡＤ２１１・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６個

（３）フタ開キー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２本
※追加のご依頼は美和ロック株式会社本社、支店営業所に鍵ナンバーを添えて
ご発注ください。

（４）２次側コード９Ｐ（操作表示器用）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６本

（５）予備ヒューズ　ＡＣ100Ｖ用（10Ａ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４本

（６）銘板カード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１枚
○銘板カードは銘板カードホルダーに組み込まれています。

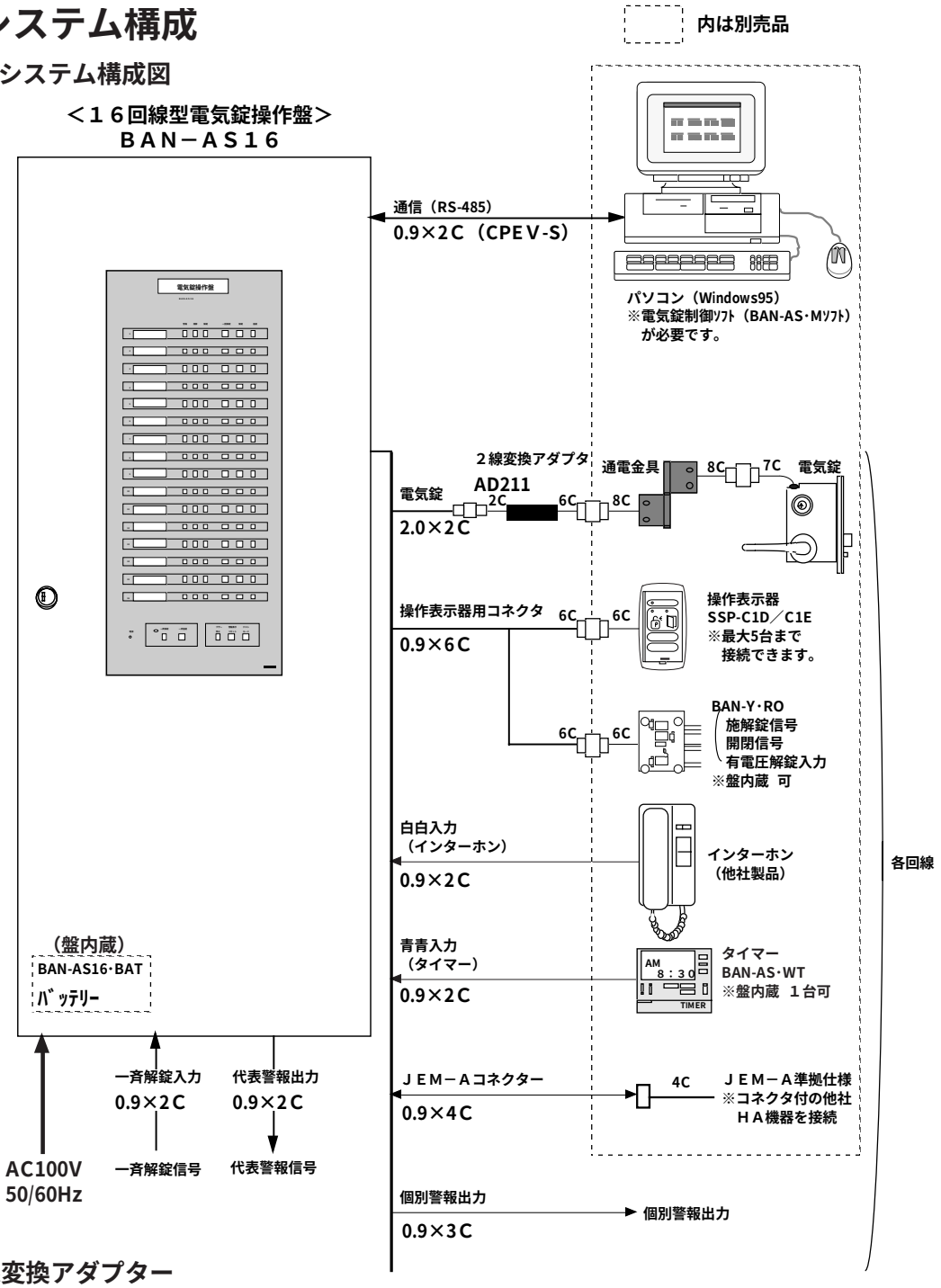
（７）取付・調整説明書（本書）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１部

（８）取扱説明書　お客様用　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１部

（９）保証書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１部

３．システム構成

■　システム構成図



■　２線変換アダプター

電気錠から出ている７芯を２芯へ変換するアダプターです。
ご使用する電気錠によってアダプターが異なります。

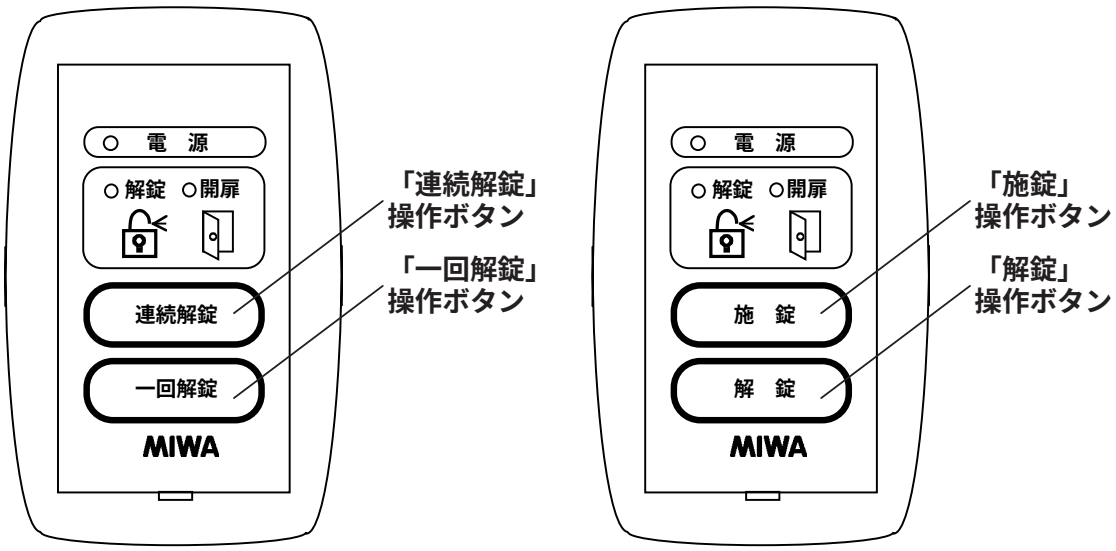
２線変換アダプター	電気錠種
AD211	ALT,ALTA,AMT,AMTA,ALGT ALR,ALRA,AMR,AMRA,ALGR ALS,AMS,ALA,ARA,ANS,ALG AL3M,AFF AST,ASR
	ALTE,ALTEP,ALTAE,ALTAEP AMTE,AMTEP,AMTAE,AMTAEP ALRE,ALREP,ALRAE,ALRAEP AMRE,AMREP,AMRAE,AMRAEP ALME,ALMEP ALGE,ALGTE,ALGRE
AD203	ASZ

電気ストライクＡＳＺをご使用になる場合のみ２線変換アダプターＡＤ２０３を別途手配してください。

非常開装置付の電気錠をご使用になる場合、電気錠～操作盤間の通線は４線になります。

■　操作表示器ＳＳＰ－Ｃ１Ｄ（オプション）

ＳＳＰ－Ｃ１Ｄ



Ａモード設定の時の
操作表示器

Ｂモード設定の時の
操作表示器

操作表示器では、電気錠の施解錠操作と状態表示ができます。
操作表示器ＳＳＰ－Ｃ１Ｄは運用モードにより、上図のような操作になります。
電気錠１回線につき５個までの操作表示器を増設できます。ＢＡＮ－Ｙ・ＲＯを
接続した場合は４個までの増設になります。

注意：操作表示器ＳＳＰ－Ｃ１Ｅをご使用になる場合は、Ａモードでは一回解錠、
Ｂモードでは解錠のみ可能な操作表示器になります。

■　自動扉出力アダプターＡＤ２１９（オプション）

自動扉用の接点出力アダプターです。
２線変換アダプターＡＤ２１１と接続して使用します。

■　接点出力用基板ＢＡＮ－Ｙ・ＲＯ（オプション）

接点出力用基板ＢＡＮ－Ｙ・ＲＯをご使用の場合は外部機器に電気錠の状態信号（解錠、
開扉）を無電圧接点出力します。
回線毎に１個内蔵可能。
接続は操作表示器接続用コネクタに接続します。
このとき操作表示器の接続可能数は４個になります。

■　バッテリーＢＡＮ－ＡＳ１６・ＢＡＴ（オプション）

交換用のバッテリーです。
※バッテリーには使用頻度に関らず、「寿命」があります。
　停電補償機能を維持するため、２年ごとの交換をおすすめします。

■　週間タイマーＢＡＮ－ＡＳ・ＷＴ（オプション）

週間タイマーＢＡＮ－ＡＳ・ＷＴをご使用の場合は、曜日別に電気錠を解錠したい時間、
施錠したい時間をそれぞれ設定できます。
電気錠はその時間に自動的に施解錠します。
１台内蔵可能。
接続はタイマー入力端子に接続します。

■ 外付タイマー（別途手配品）

市販のタイマー（設定時、無電圧の接点出力するもの）をＢＡＮ－ＡＳ１６に接続し、電気錠の解錠・施錠を時間制御することができます。タイマー入力端子に接続します。

例）週間タイマー　　ＢＡＮ－ＯＰＷＴ（別置）　美和ロック製
　　24時間タイマー　ＢＡＮ－ＯＰＤＴ（別置）　美和ロック製
　　週間タイマー　　ＥＴ－１００ＳＣ（別置）　スナオ製　同等品
　　24時間タイマー　ＴＢ１５６０１　（別置）　松下電工製　同等品

■ インターホン（別途手配品）

市販の解錠釦付インターホン（操作時無電圧の接点出力するもの）をＢＡＮ－ＡＳ１６に接続し、インターホン上の釦操作によって、電気錠を解錠することができます。
接続はインターホン入力端子に接続します。

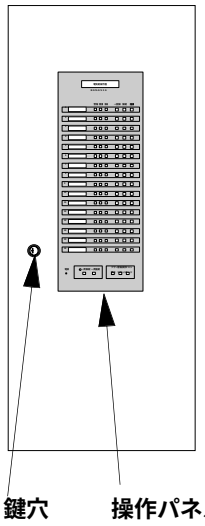
例）解錠釦付インターホン　親機　ＩＥ－ＩＡＤ　アイホン製　同等品
　　子機　ＩＥ－ＤＡ　　アイホン製　同等品

■ ＪＥＭ－Ａ端子

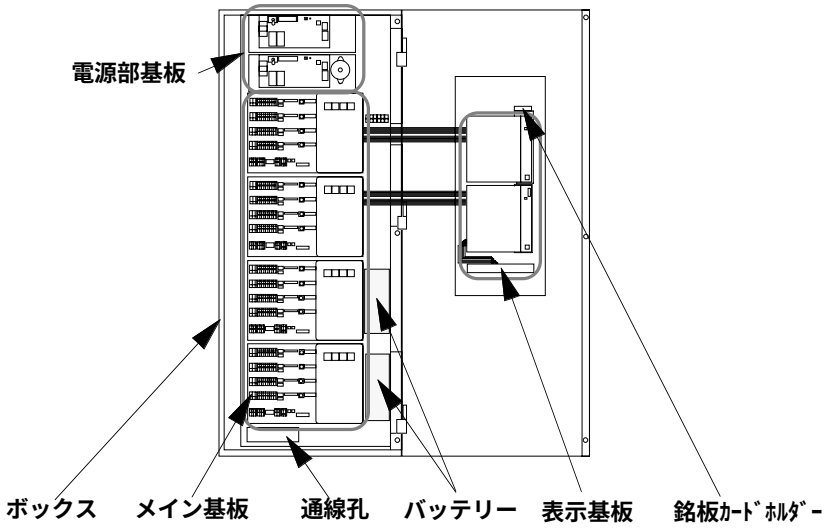
日本電気工業会規格ＪＥＭ１４２７に準拠した、ＨＡ（ホームオートメーション）用コネクタを装備しています。

４．操作盤各部の名称

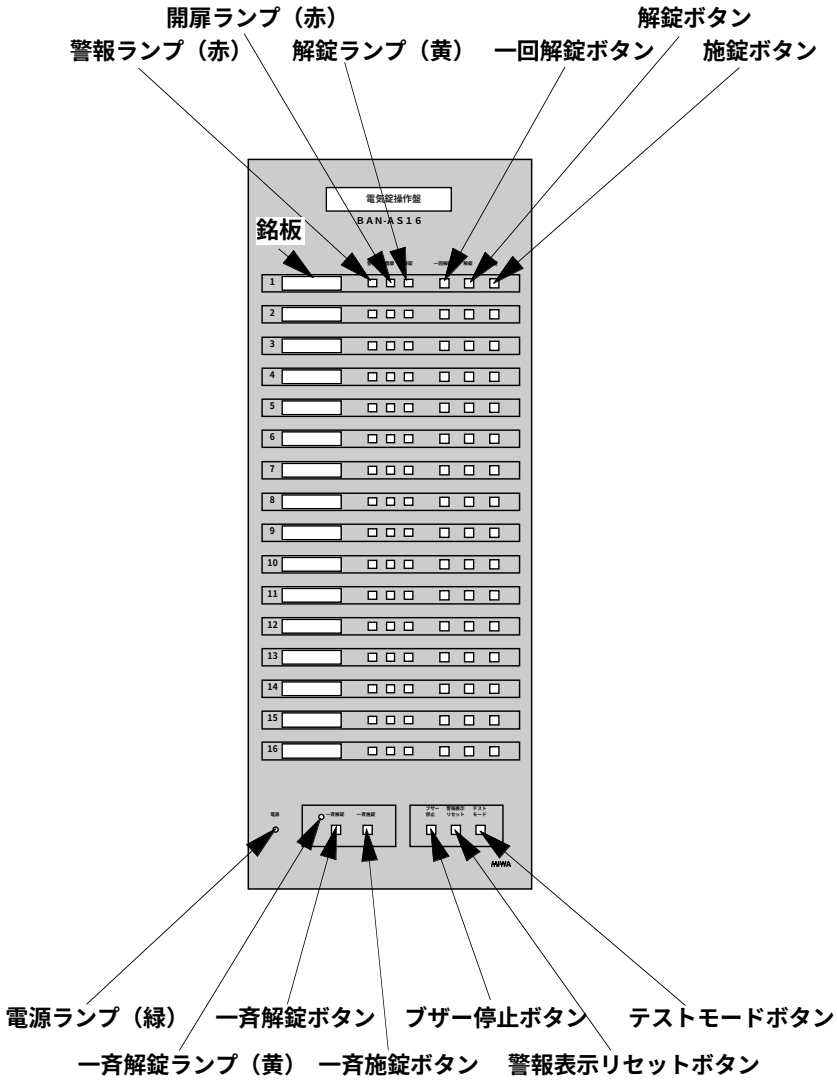
〈正面図〉



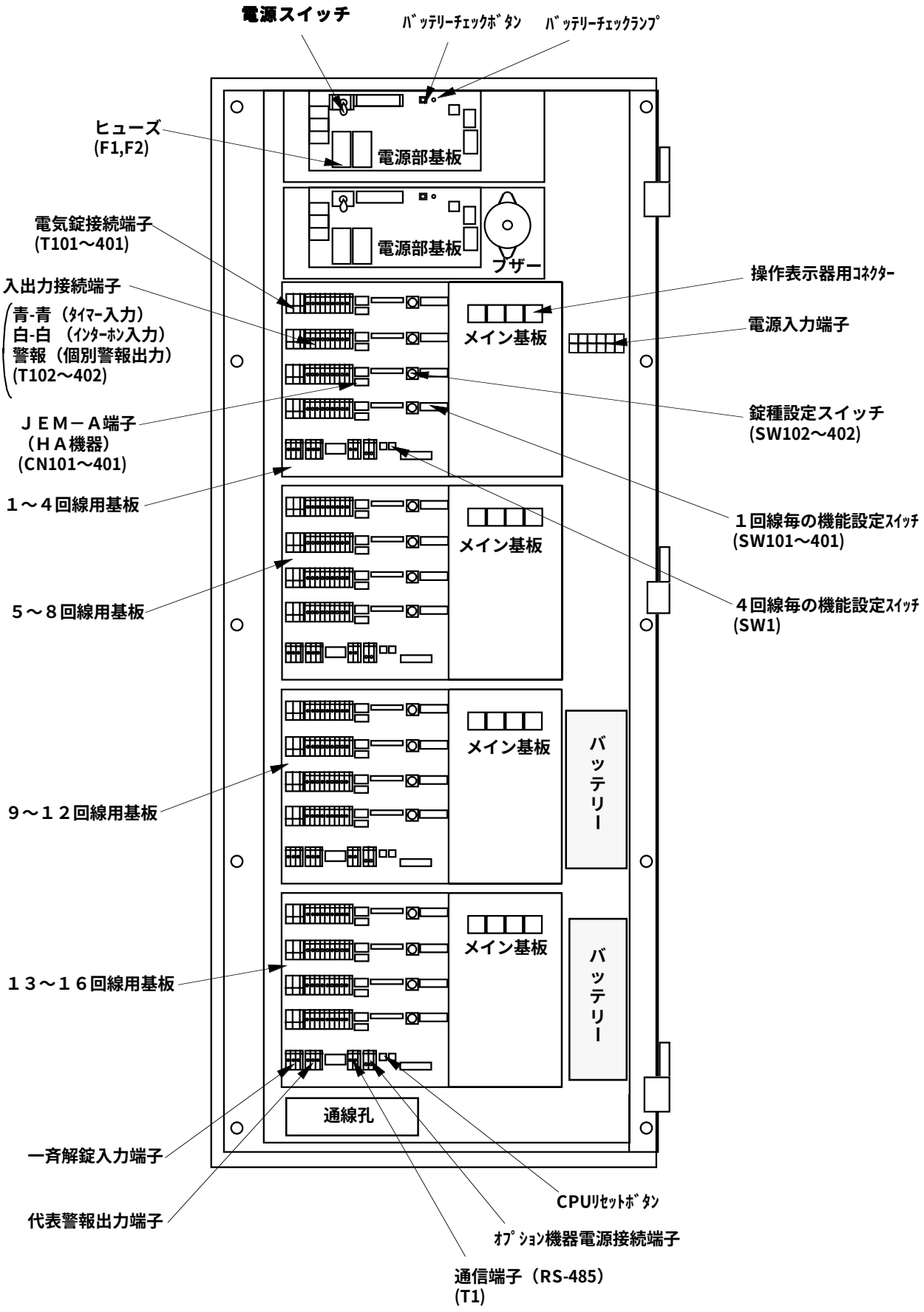
〈フタ開図〉



〈パネル詳細図〉



〈盤内詳細図〉


電源スイッチ
ﾊﾞｯﾃﾘｰﾁｪｯｸﾎﾞﾀﾝ
ﾊﾞｯﾃﾘｰﾁｪｯｸﾗﾝﾌﾟ
ヒューズ
(F1,F2)
電源部基板
電源部基板
ブザー
電気錠接続端子
(T101～401)
入出力接続端子
青-青 （ﾀｲﾏｰ入力）
白-白 （ｲﾝﾀｰﾎﾝ入力）
警報（個別警報出力）
(T102～402)
ＪＥＭ－Ａ端子
（ＨＡ機器）
(CN101～401)
１～４回線用基板
５～８回線用基板
９～１２回線用基板
１３～１６回線用基板
一斉解錠入力端子
代表警報出力端子
通信端子（RS-485）
(T1)
ｵﾌﾟｼｮﾝ機器電源接続端子
CPUﾘｾｯﾄﾎﾞﾀﾝ
通線孔
メイン基板
メイン基板
メイン基板
メイン基板
バッテリー
バッテリー
操作表示器用ｺﾈｸﾀｰ
電源入力端子
錠種設定スイッチ
(SW102～402)
１回線毎の機能設定ｽｲｯﾁ
(SW101～401)
４回線毎の機能設定ｽｲｯﾁ
(SW1)

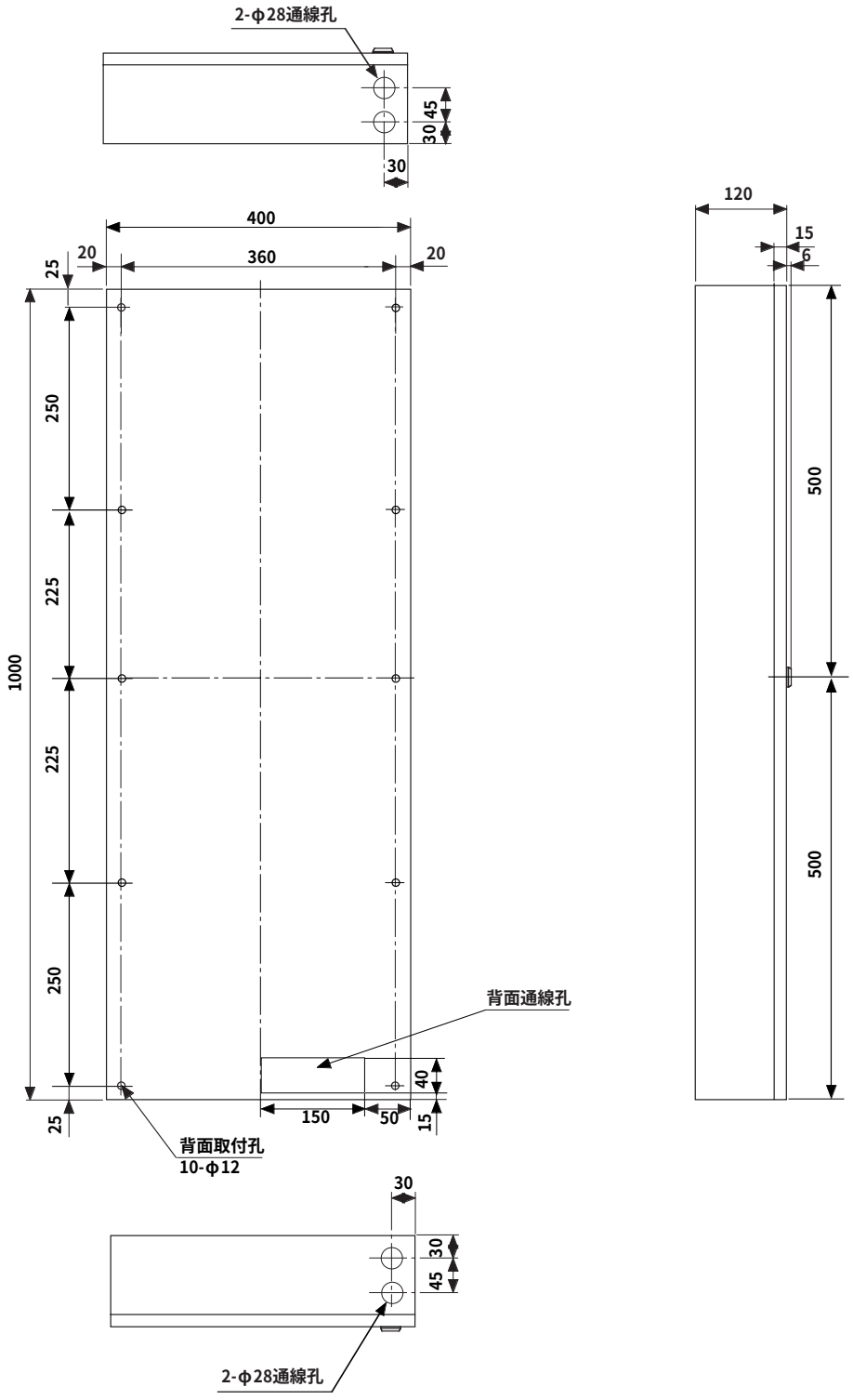
５．操作盤を取り付ける

本装置の重量は約40ｋｇです。重さに十分耐える壁面等に取り付けてください！

○壁面露出取り付け型の操作盤です。
○十分平坦な面で、水漏れ、振動、腐食性ガス、多量のホコリなどの恐れのない場所（壁面）をお選びください。

製品の背面または下面のφ12穴を利用し、M10ビスで取り付けてください。

○通線は壁面に、裏ボックスなど（別途）を設け、盤背面の通線口を、ご利用ください。



６．結線をする

感電注意！結線の前にブレーカーを落としてください！
本装置の電源スイッチも切ってください。

ネジや電線カスなどの金属を装置の中に落とさないでください！
発熱・火災などの事故や故障の原因となります。

〈結線を行う前に〉

○操作盤と電気錠間の通線に問題がないことを確認してください。

注意）特に　下記１）および２）を怠ると操作盤が壊れる　こともあります。
必ず確認してください。

１）各電気錠通線が地絡していないことを確認する。
錠前取付時、通電金具取付時などに、通線をカミコミ地絡していることがあります。
各通線とアース線間に、導通がないことを確認してください。

２）各電気錠通線が短絡していないことを確認する。

■配線距離について

導体外径	電気錠～操作盤間		
	AL3M,AFF ALS,ARA	ALT,ALR ASZ	ALA,ALG
0.9mm	30m	100m	60m
1.2mm	50m	140m	100m
1.6mm	80m	240m	160m
2.0mm	130m	380m	250m

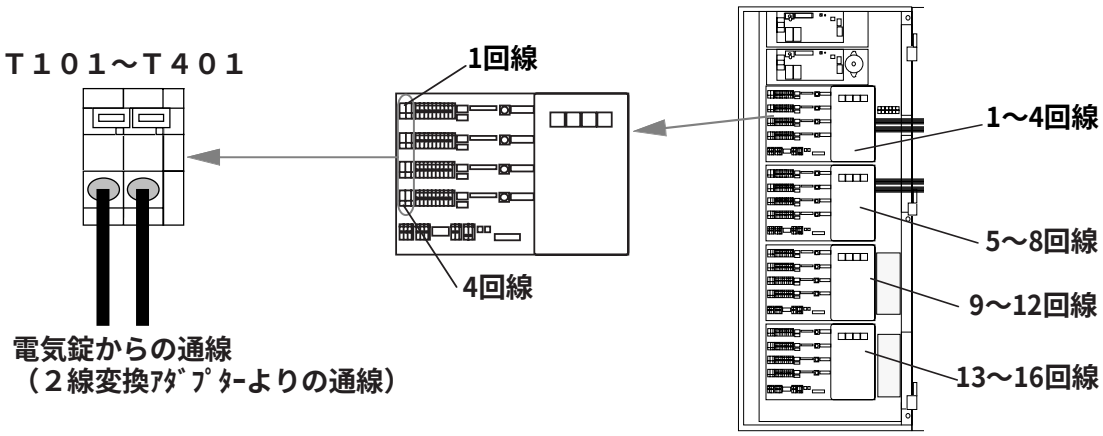
導体外径	操作表示器～操作盤間
0.9mm	100m

導体外径	外部入力～操作盤間
0.9mm	100m

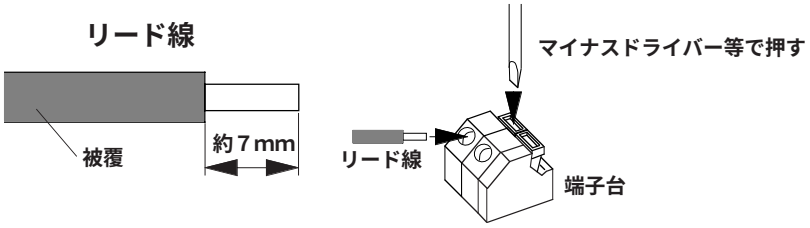
導体外径	一斉解錠入力～操作盤間
0.9mm	100m

（1）電気錠からの通線を結線する

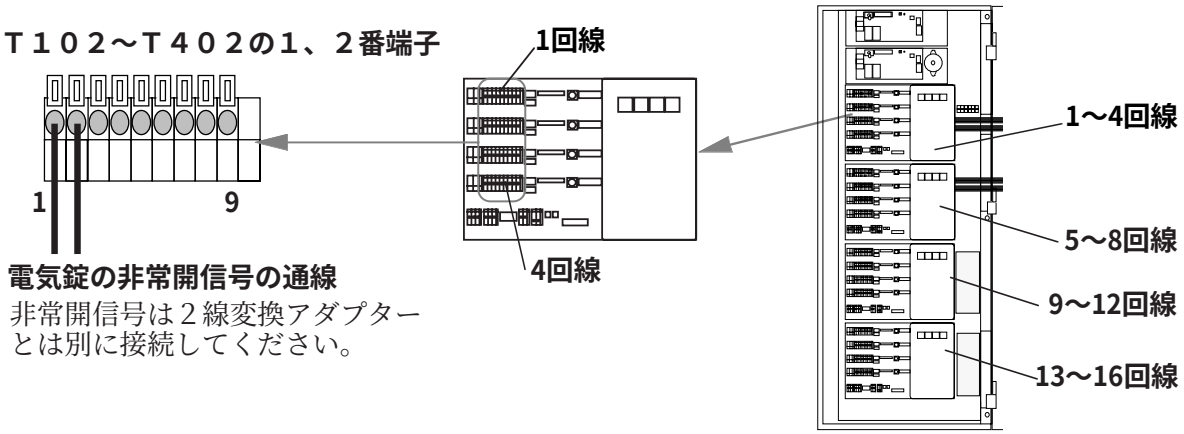
○各電気錠からの通線（２線）を、各端子台**Ｔ１０１～Ｔ４０１**に接続します。
極性はありません。



【端子台結線方法】　端子台は差し込み式端子台です。

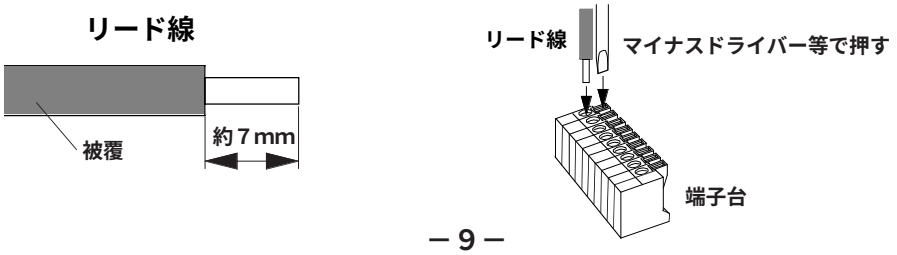


○非常開装置付電気錠の場合、非常開信号は各端子台**Ｔ１０２～Ｔ４０２**の１、２番端子に
接続します。



【端子台結線方法】　端子台は差し込み式端子台です。

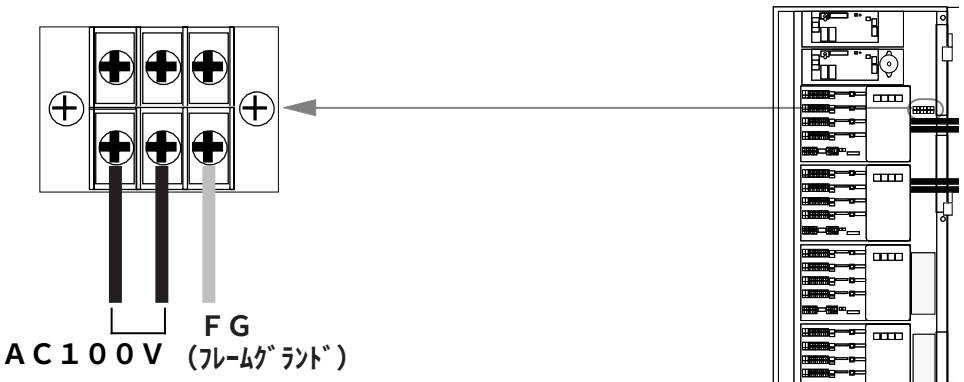
１）リード線の被覆を約７mmむいて芯線を出します。
２）端子台上部の開放レバーをマイナスドライバー等で押します。
３）リード線を端子接続スペースに挿入します。
４）リード線が端子接続スペースに入ったら、マイナスドライバー等を離してください。
５）リード線を引っ張り、芯線がしっかり噛み込まれていることを確認してください。



（2）ＡＣ１００Ｖ入力端子を結線する

この操作盤の電源入力端子です。
ＡＣ１００Ｖ　４４０ＶＡを供給できる電源を接続してください。

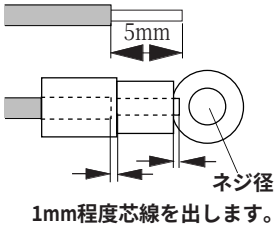
ＡＣ１００Ｖの結線です！
ブレーカーおよび本装置の電源を切ったか？再確認してください。



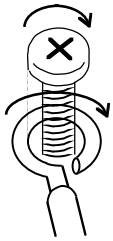
※ＦＧ端子には、必ず第３種以上の接地線を接続して
ください。
安全上・ノイズ対策上、非常に有効です。

※この結線は電気工事士の資格が必要です。

１）丸端子を使用する場合
５mm程度芯線を出します。
適合工具で圧着します。
・被覆を圧着しないように注意してください。
・丸端子は線径、ネジ径に合ったものを使用してください。
・抜け防止のため、Ｙ端子ではなく丸端子を使用してください。



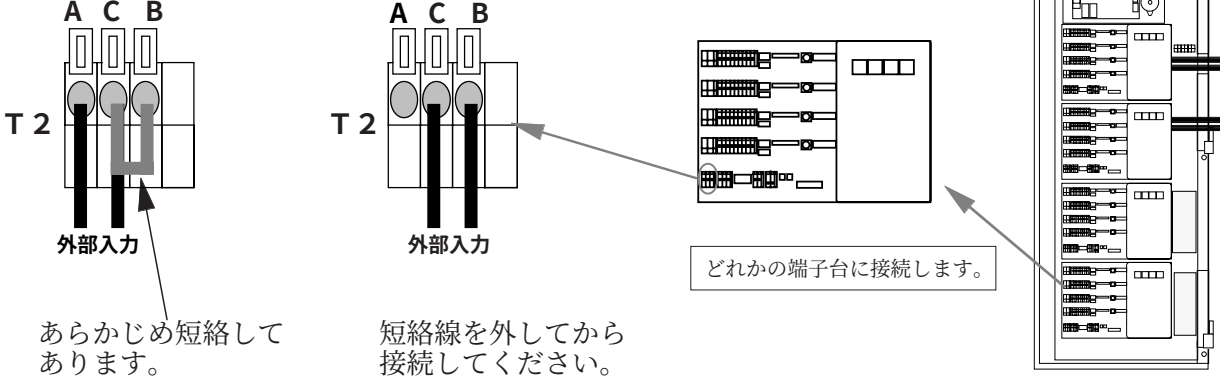
２）線を直接接続する場合
１２mm程度芯線を出します。
・より線は芯線を３mmハンダあげします。
ネジを締める方向に線を巻き付け、ネジを締めます。
・被覆をネジに挟み込まないように注意してください。



（3）一斉解錠入力端子を結線する

外部からの信号で、全電気錠を一斉解錠させる場合に接続します。（例：火報入力）
接点定格ＤＣ３０Ｖ　０．１Ａ以上の接点を接続してください。
外部からの信号により、下記のどちらかの接続をしてください。
どの基板の端子台に接続しても機能は同じです。
端子台の結線方法は（１）項参照。

○無電圧ａ接点連続入力　○無電圧ｂ接点連続入力



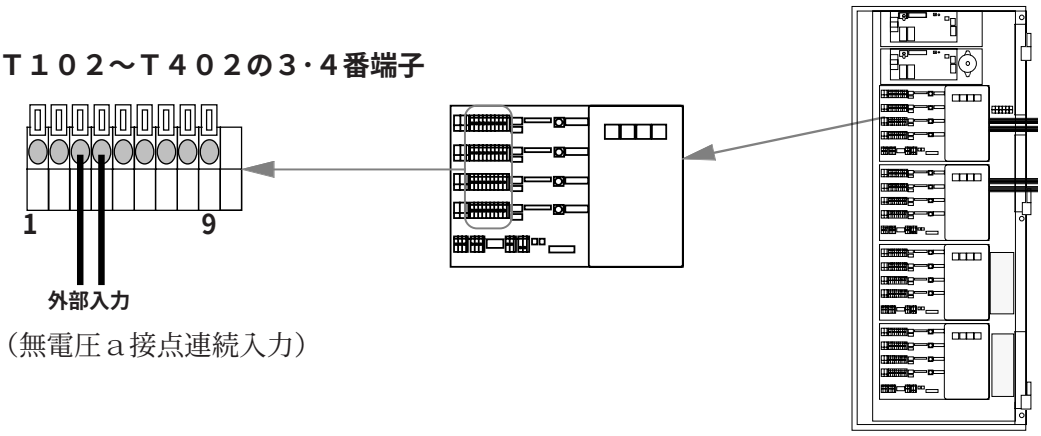
あらかじめ短絡して
あります。

短絡線を外してから
接続してください。

（4）タイマー入力端子を結線する

外部からの信号で、各電気錠を個別に連続解錠させる場合に接続します。
接点定格ＤＣ３０Ｖ　０．１Ａ以上の接点を接続してください。
端子台の結線方法は（１）項参照。

○タイマー入力信号は各端子台**Ｔ１０２～Ｔ４０２**の３、４番端子に接続します。

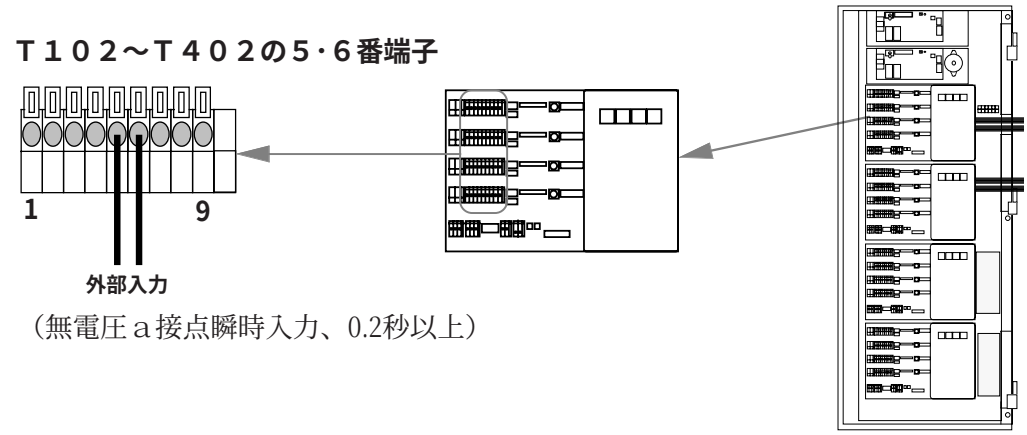


（無電圧ａ接点連続入力）

（5）インターホン入力端子を結線する

外部からの信号で、各電気錠を個別に施解錠させる場合に接続します。
接点定格ＤＣ３０Ｖ　０．１Ａ以上の接点を接続してください。

○インターホン入力信号は各端子台**Ｔ１０２～Ｔ４０２**の５、６番端子に接続します。

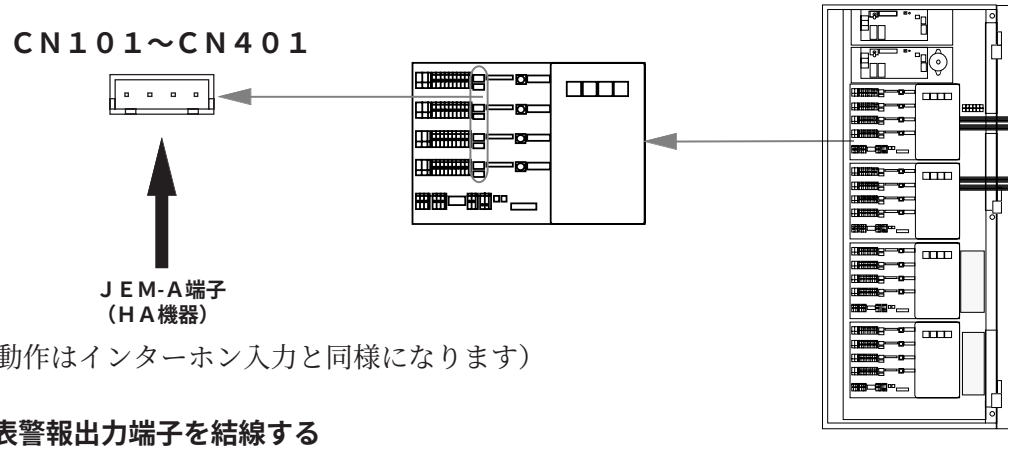


（無電圧ａ接点瞬時入力、0.2秒以上）

（6）ＪEM-A端子を結線する

ＨＡ機器からの信号で、各電気錠を個別に施解錠させる場合に接続します。
日本電機工業会規格に準じた信号（ＪEM-A端子）を接続してください。

○ＪEM-A端子はコネクター**ＣＮ１０１～ＣＮ４０１**に接続します。

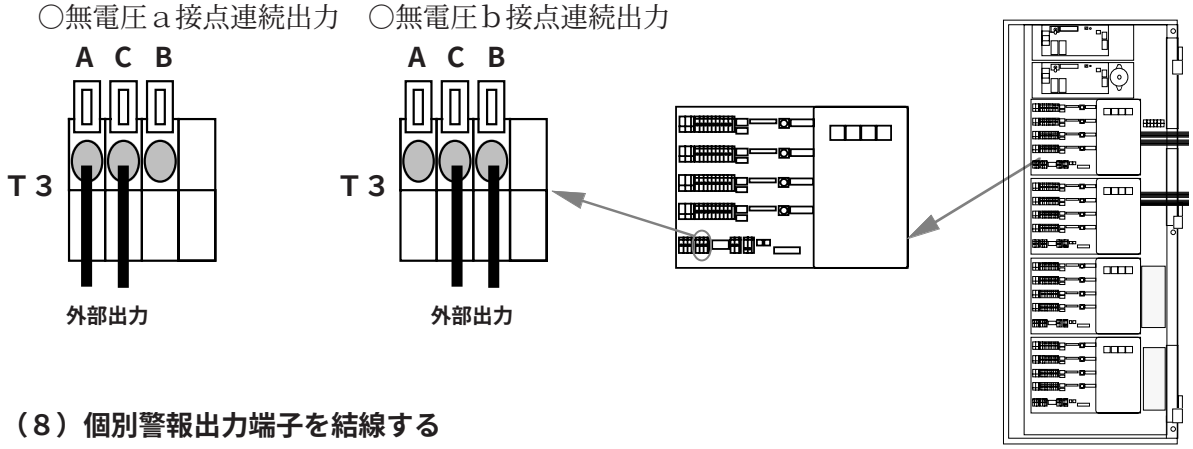


（動作はインターホン入力と同様になります）

（7）代表警報出力端子を結線する

この操作盤が警報状態のときに接点出力します。
接点定格はＤＣ３０Ｖ　０．５Ａ以内です。
外部への信号により、下記のどちらかの接続をしてください。
どの基板の端子台に接続しても機能は同じです。
端子台の結線方法は（１）項参照。

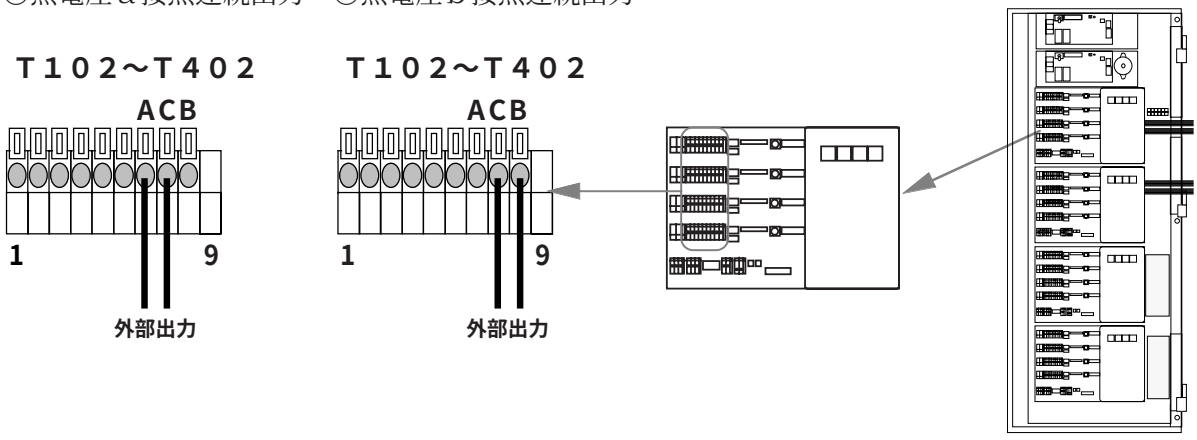
○無電圧ａ接点連続出力　○無電圧ｂ接点連続出力



（8）個別警報出力端子を結線する

各回線が警報状態のときに接点出力します。
接点定格はＤＣ３０Ｖ　０．５Ａ以内です。
外部への信号により、下記のどちらかの接続をしてください。
端子台の結線方法は（１）項参照。

○無電圧ａ接点連続出力　○無電圧ｂ接点連続出力

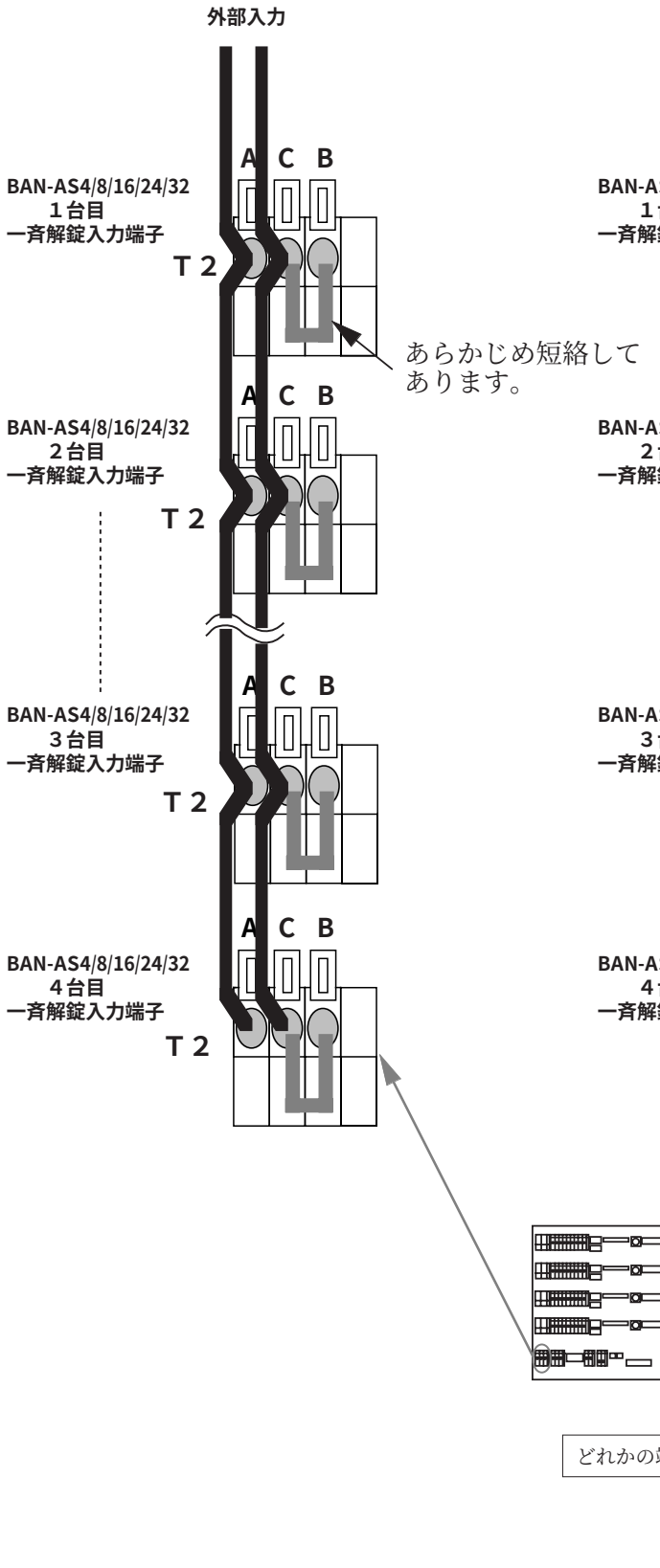


（9）一斉解錠入力端子を連動接続する

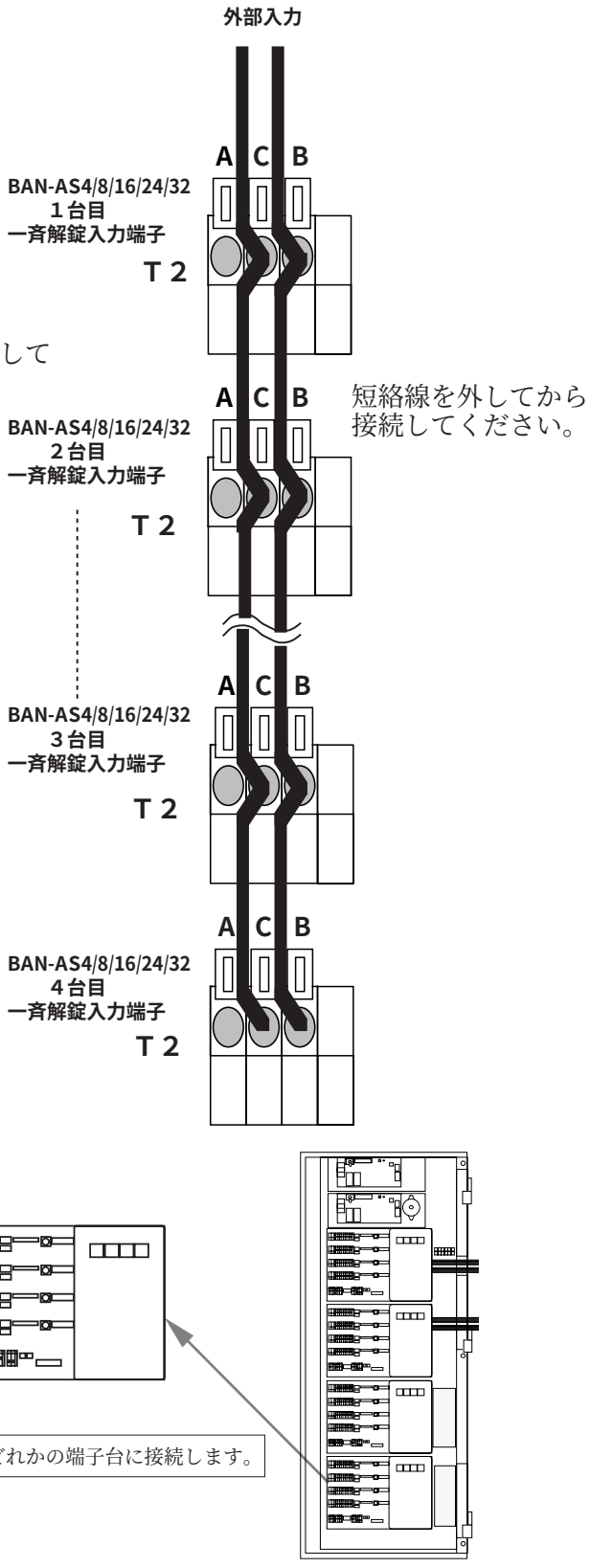
一つの一斉解錠入力で操作盤を複数台、連動させる場合に接続します。
（例：火報入力）

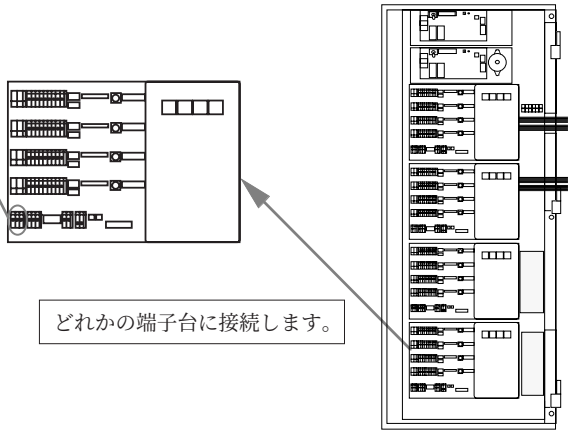
○連動接続する場合は、下記の通り接続してください。
接点定格ＤＣ３０Ｖ　０．１Ａ以上の接点を接続してください。
誤結線は、ただちに機器の故障につながります。確実な確認、結線をお願いします。
どの基板の端子台に接続しても機能は同じです。
端子台の結線方法は（１）項参照。

○無電圧ａ接点連続入力



○無電圧ｂ接点連続入力

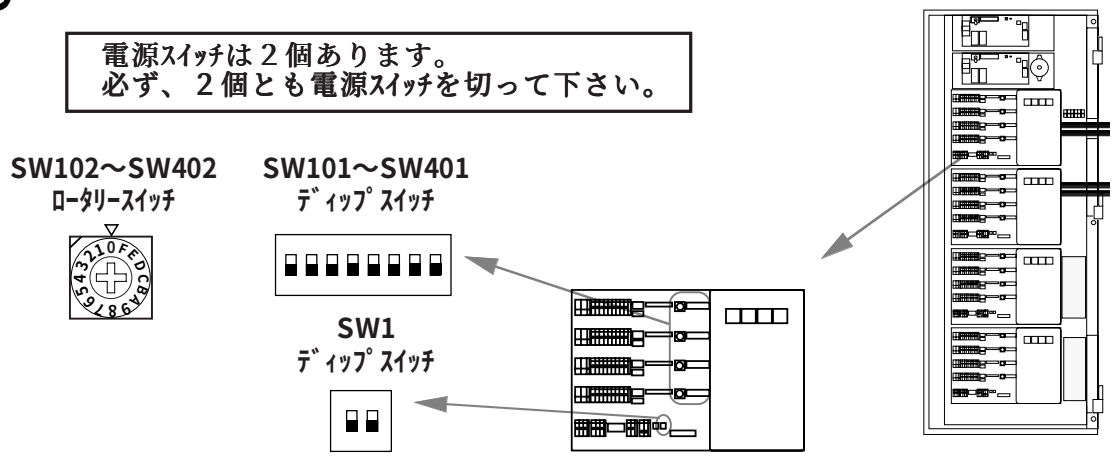




７．各種設定を行う

電源をＯＦＦ！
電源を切らずに設定変更しても無効です。

電源ｽｲｯﾁは２個あります。
必ず、２個とも電源ｽｲｯﾁを切って下さい。



■　錠種設定を行う

プラスドライバー等でロータリースイッチ上部の十字の部分を利用し、▽印の位置に０～５の設定を行ってください。各回線毎に行ってください。

SW102～SW402
ﾛｰﾀﾘｰｽｲｯﾁ

錠種設定

０：未使用回線
１：電気錠（出荷時設定）
２：電気ストライク
３：ＡＳＺ
４　　：自動扉
５　　：監視
６～Ｆ：設定しないでください

○未使用回線
電気錠を接続しない回線は設定を**「０」**にしてください。

○自動電気錠判別（出荷時設定）

ALB､ALK､ALXを除く**電気錠**を使用する場合は設定を**「１」**に設定してください。

電源立ち上げ時に操作盤が電気錠の錠種を自動判定します。

※この設定時は「こじ開け警報」が機能します。
「こじ開け警報」を機能させたくない時は、「２」に設定して下さい。

錠種自動判別とは

操作盤が錠種を自動的に判別する機能です。
接続されている電気錠の錠種がわからなくても、操作盤が錠種に合わせた設定を自動的に行います。

扉を閉めた状態で電源を入れることで、操作盤が電気錠種を自動判別します。

○自動電気ストライク判別

AST,ASR　を使用する場合は設定を**「２」**に設定してください。

電源立ち上げ時に操作盤が電気ストライクの錠種を自動判定します。

※この設定は「こじ開け警報」が機能しません。

○ＡＳＺ
ASZを使用する場合は設定を**「３」**に設定してください。

○自動扉
自動扉出力アダプターＡＤ２１９を使用する場合は**「４」**に設定してください。

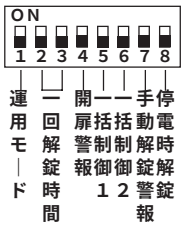
○監視
防犯センサー類を監視する場合は**「５」**に設定してください。

※錠種設定を「６～Ｆ」にしないでください。
「６～Ｆ」に設定すると、設定ミス表示になります。

■ 機能設定を行う

精密ドライバー等でディップスイッチの設定を行ってください。
電気錠が接続されている回線全てに対して行ってください。

SW101～SW401
ディップスイッチ



出荷時設定

設定方法

ｽｲｯﾁ番号	設定種類		
1	運用モード	Aモード	Bモード
2 3	一回解錠時間 ( )内は自動扉の場合	5秒(0.5秒) 20秒(10秒)	10秒(3秒) 60秒(20秒)
4	開扉警報	あり	なし
5	一括制御１	しない	する
6	一括制御２	しない	する
7	手動解錠警報	なし	あり
8	停電時解錠	しない	させる

○運用モード

電気錠の動作として閉扉自動施錠（Aモード）または施解錠繰り返し（Bモード）が選べます。（錠種によっては限定されます）

・閉扉自動施錠（Aモード）とは、
施錠状態を基本とし、必要な時に一時的に電気錠を解錠するという運用動作を指します。

・施解錠繰り返し（Bモード）とは、
操作毎に電気錠が施錠と解錠を交互に繰り返す運用動作を指します。

電気錠の使い方

適用モード	錠種
Aモード	すべての適用錠種 （ALB,ALK,ALX,ASEを除くMIWA電気錠または電気ストライク）
Bモード	AFF,ALA,ALG,ALS,AL3M,ALME,ALMEP,AMS,ANS,ARA

※運用モードがAモードまたはBモードであっても盤面での操作は同じです。

出荷時設定は「Aモード」になっています。

○一回解錠時間

一回解錠操作後、扉を開けなかった場合に自動的に施錠するまでの時間です。
錠種設定が「４：自動扉」の場合は、（　）内の時間になります。
出荷時設定は「５秒」になっています。

○開扉警報

・開扉警報は一回解錠後、扉が開けられて指定時間経過しても扉が閉められない場合に警報として発報します。

・一回解錠時間が　５秒に設定されている時は、　１０秒以上扉を開放していると発報します。
　　〃　　１０秒　　〃　　、　１５秒以上　　〃　　。
　　〃　　２０秒　　〃　　、　６０秒以上　　〃　　。
　　〃　　６０秒　　〃　　、１８０秒以上　　〃　　。

・設定を「なし」にすると開扉警報は発報しません。

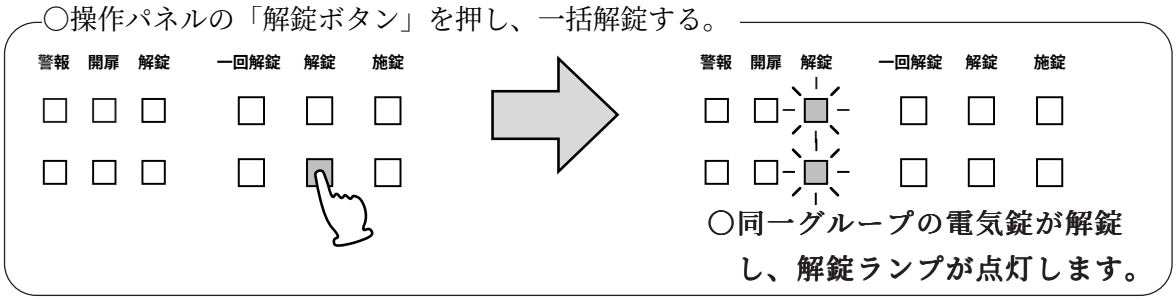
・出荷時設定は「あり」になっています。

○一括制御１、２

複数個（２～４個）の電気錠を一操作（一入力）で同じ動作をさせたいときに設定します。
両開き扉の両扉に電気錠を使用するとき、一部屋に出入口が複数あるとき等に使用する機能です。

・「一括制御１」を「する」にした複数の回線は同一グループとして盤面の操作でのみ同時に動作します。
・「一括制御２」を「する」にした複数の回線も別のグループとして同様に盤面の操作でのみ同時に動作します。
・「一括制御１」と「一括制御２」共に「する」した場合は設定間違いになります。１８頁参照

出荷時設定は一括制御１、２共に「しない」になっています。



○手動解錠警報

錠前がキー、サムターン、非常解錠装置で解錠されたときに警報として発報します。
押しボタンやテンキー、カードリーダーなどで解錠したときは、警報を発報しません。
出荷時設定は「なし」になっています。

○停電時解錠

非常時（停電）の解錠手段の一つです。
設定が「させる」のときに停電が起きると（ＡＣ１００Ｖが切れると）電気錠が解錠します。
復電すると電気錠は施錠します。
出荷時設定は「しない」になっています。
※この機能にはバッテリーが必要です。（別途手配）
　バッテリーを装備していないときは「しない」にしてください。

■４回線毎の機能設定を行う

精密ドライバー等でディップスイッチの設定を行ってください。
この設定は、同一基板上の回線（４回線）に共通の設定です。

ＳＷ１
ディップスイッチ

出荷時設定

設定方法

ｽｲｯﾁ番号	設定種類		
1	連続解錠入力優先	■優先	□否優先
2	ＳＳＰ出力切替	■点滅あり	□点滅なし

○連続解錠入力優先

連続解錠入力優先を「優先」設定にすることでタイマー入力端子に入力される制御信号の制御力を上げることができます。
この設定を行うと、タイマー入力端子に入力する信号で解錠している電気錠を他の入力操作では施錠できなくなります。
設定を「否優先」にするとタイマー入力も他の入力と同レベルになり、後操作が優先の運用になります。
出荷時設定は「優先」になっています。

○ＳＳＰ出力切替

盤外に接続する操作表示器の表示の点滅有り／点滅なし（点灯）を設定します。
点滅有りにすると一回解錠時に解錠ランプ点滅になります。一回解錠（設定時間解錠）と連続解錠の状態を表示により区別できます。
警報時の解錠ランプ、開扉ランプも点滅するようになります。
（点滅なしにするとランプは点滅せずに点灯表示になります。）
ＢＡＮ－Ｙ・ＲＯを使用する場合は点滅なしに設定します。
出荷時設定は「点滅有り」になっています。

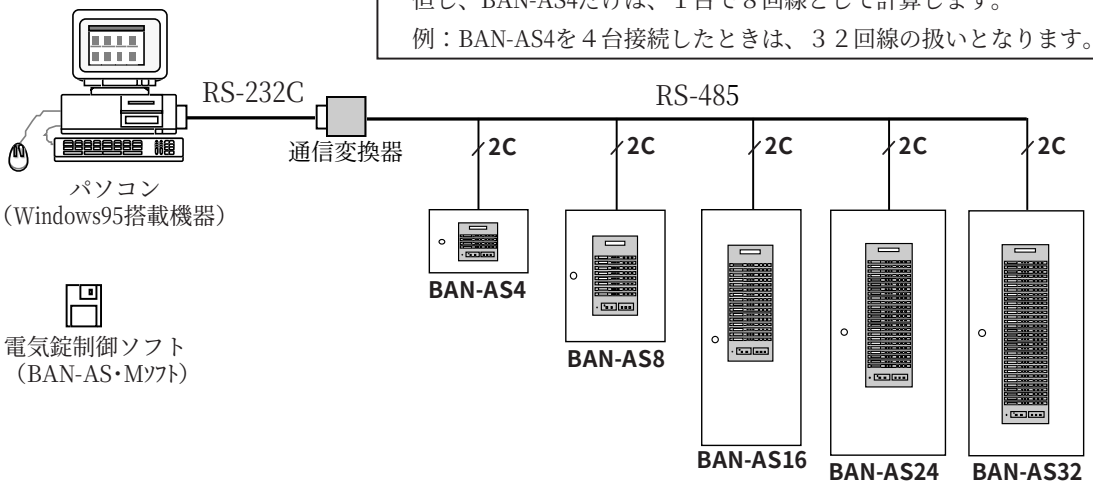
■通信機能

ＢＡＮ－ＡＳ１６にはデータ通信機能（RS-485）が有ります。
この通信機能は、パソコン※から電気錠の状態確認と施解錠操作をするためのものです。

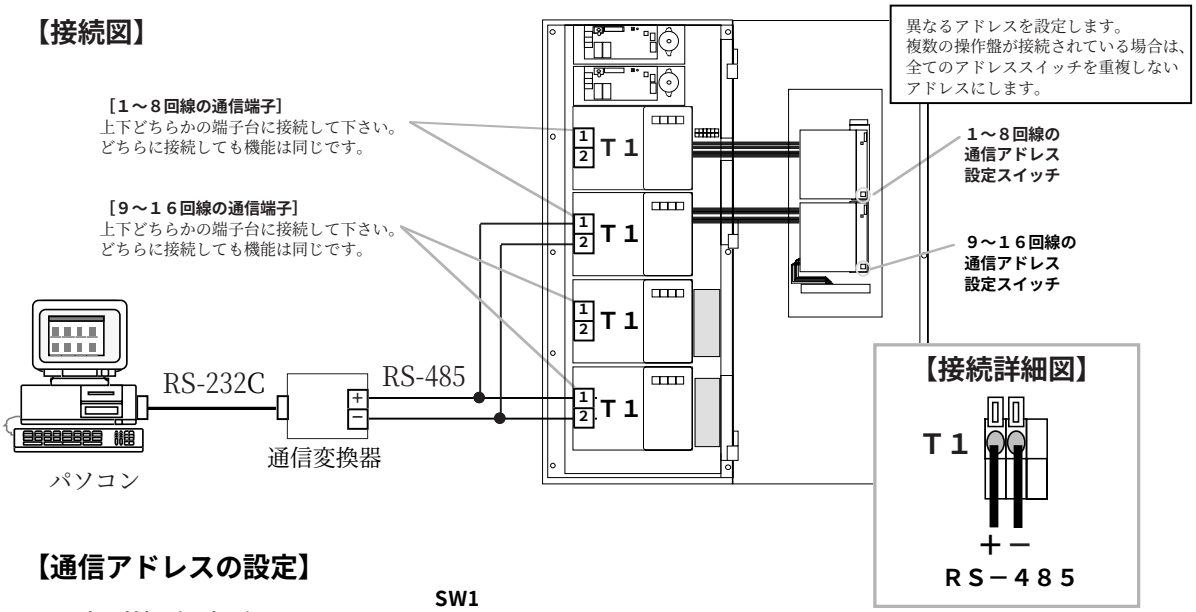
※パソコン（Windows95）に電気錠制御ソフト（BAN-AS･Mｿﾌﾄ）をインストールする必要が有ります。
ソフトについては、電気錠制御ソフト（BAN-AS･Mｿﾌﾄ）の取扱説明書を参照してください。

【システム構成】

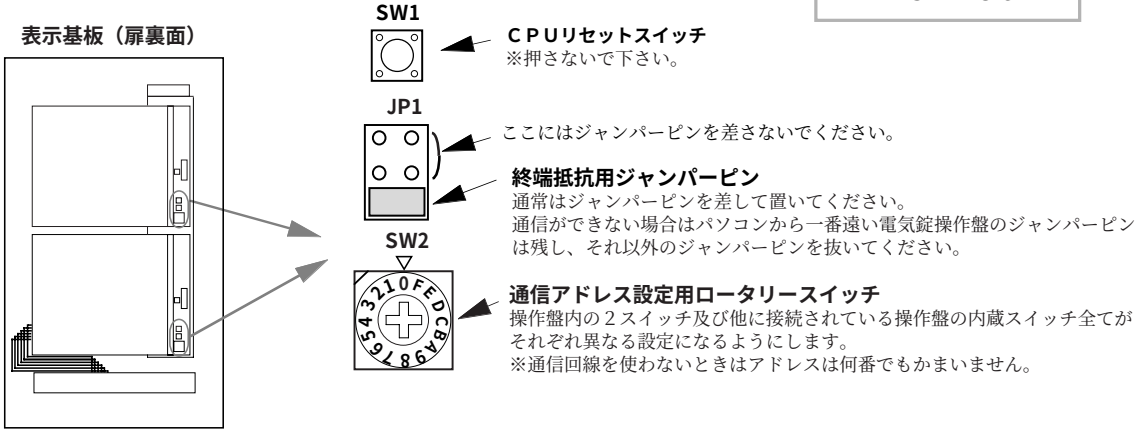
電気錠が最大８０回線接続できます。
※最大８０回線分の操作盤が接続できます。
但し、BAN-AS4だけは、１台で８回線として計算します。
例：BAN-AS4を４台接続したときは、３２回線の扱いとなります。



【接続図】



【通信アドレスの設定】



８．システムの動きを確認する

：点灯状態　：高速点滅状態　：点滅状態　□：消灯状態　：ブザー鳴動状態

（１）操作盤のフタをフタ開キーで開ける

指詰め注意！扉の吊元に指を入れないでください！

感電注意！操作盤内には、ＡＣ100Ｖ端子および回路があります。
電源スイッチの場所が確認できるまで、手を入れないでください！

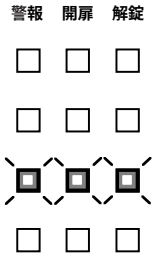
（２）電源を入れる

○２つの電源スイッチを”入”にします。

→電源が投入されると操作パネルの「電源ランプ」が点灯します。
電源投入と同時に接続されている電気錠の判別を自動的に行います。

※２つの電源スイッチを”入”にしないと、電源ランプは点灯しません。

「警報ランプ」、「開扉ランプ」、「解錠ランプ」が点滅のままのときは
判別できなかった場合または設定間違いの場合です。



※扉が開いている所は電気錠の判別が行えません。扉を閉めてください。
※ﾛｰﾀﾘｰｽｲｯﾁ、ﾃﾞｨｯﾌﾟｽｲｯﾁの設定が間違っていないか、再度確認してください。

電気錠の判別が終了すると設定された制御を始めます。

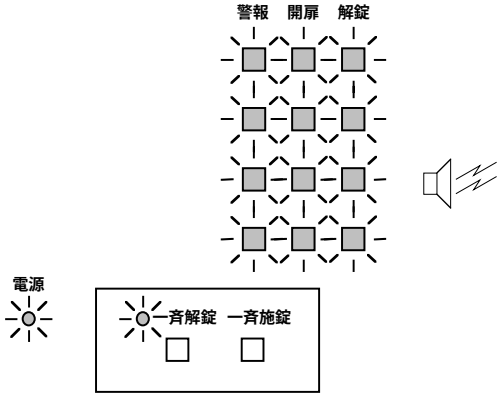
錠種設定を「０」未使用回線に設定している場合は、その回線の表示は
消灯のままです。

（３）操作盤のテストをする

○操作パネルの「テストモードボタン」を押します。

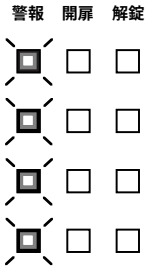
テストモードの動作

→テストモードボタンが押されるとブザーが鳴動し、操作パネルの全ての「ランプ」が約２秒間点灯します。また、このとき各回線の電気錠に通電して回線毎のチェックを行います。



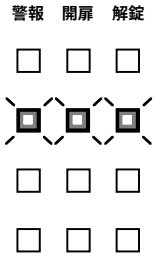
全て正常ならば電源ランプのみ点灯します。その後（約３秒後）、通常の動作になります。

全回線の「警報ランプ」が３回点滅したら操作盤自身が異常です。



個別回線の「警報ランプ」、「開扉ランプ」、「解錠ランプ」が３回点滅したらその回線が異常です。

例）２回線が異常の場合



※異常回線の配線が短絡、断線等の可能性がありますので、配線を確認してください。

（４）電気錠を閉扉かつ施錠状態にする

注）「一斉解錠ランプ」が消灯していることを確認してください。

▼「一斉解錠ランプ」が点灯しているときは

一斉解錠入力端子の外来線を外してください。

→「一斉解錠ランプ」が消灯します。

消灯、閉扉を確認の上、各回線の「施錠ボタン」
または「一斉施錠ボタン」を押します。

▼「一斉解錠ランプ」が点滅しているときは

「一斉解錠ボタン」を再度押してください。

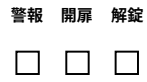
→「一斉解錠ランプ」が消灯します。

消灯、閉扉を確認の上、各回線の「施錠ボタン」
または「一斉施錠ボタン」を押します。

注）非常開装置付の電気錠は、非常開装置をリセットしてください。
詳細は取扱説明書の２４頁参照。

○各回線の閉扉を確認しつつ、各回線の「施錠ボタン」または「一斉施錠ボタン」を押します。
→電気錠は施錠します。

→各回線の「警報ランプ」、「開扉ランプ」、「解錠ランプ」は消灯します。



▼　電気錠が施錠しないとき（「解錠ランプ」が点滅もしくは点灯しているとき）は

次のことを確認、調整してください。

・チリ（扉と枠の隙間）が７㎜以上あるとき→６㎜以下にしてください。
・ラッチボルト、デッドボルトが受け座（ストライク）に擦っている。
（前後ズレ、上下ズレ）

扉、枠の建て付け調整

・握玉、レバーハンドルの動きが悪い。

電気錠の取付調整

▼　「開扉ランプ」が点灯しているときは

次のことを確認、調整してください。

・チリ（扉と枠の隙間）が７㎜以上あるとき→６㎜以下にしてください。
・ラッチボルト、デッドボルトが受け座（ストライク）に擦っている。
（前後ズレ、上下ズレ）
・受け座（ストライク）が正規の向きに付いていない。

扉、枠の建て付け調整

▼　「警報ランプ」が点灯しているときは

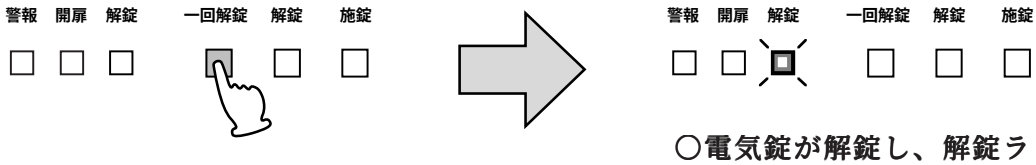
次のことを確認、調整してください。

・電気錠～操作盤間の配線に断線、短絡等がある。

配線の引き直し、接続替え

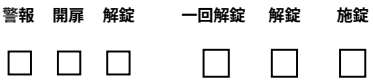
（5）電気錠を操作盤から解錠する

○操作パネルの「一回解錠ボタン」を押し、解錠する。



○電気錠が解錠し、解錠ランプが点滅します。

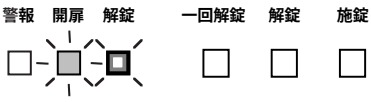
○扉を開けなかった場合



○設定された解錠時間経過後、電気錠が施錠し、解錠ランプが消灯します。

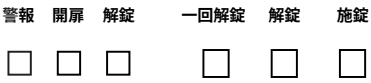
※運用モード設定がＡモードであっても Ｂモードでも同じ動作となります。

○扉を開けた場合



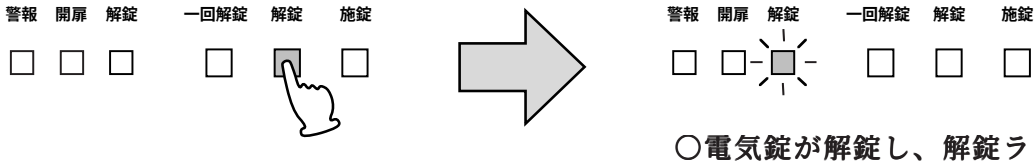
○開扉ランプが点灯します。

○扉を閉めます。



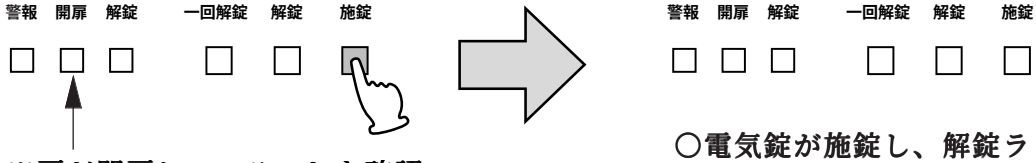
○扉を閉めると開扉ランプが消灯し、電気錠が施錠して解錠ランプが消灯します。

○操作パネルの「解錠ボタン」を押し、解錠する。



○電気錠が解錠し、解錠ランプが点灯します。

○操作パネルの閉扉を確認して「施錠ボタン」を押し、施錠する。

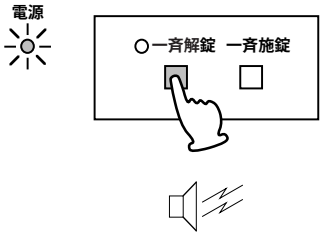


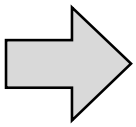
※扉が閉扉していることを確認

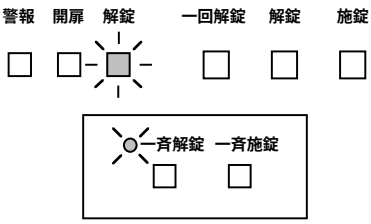
○電気錠が施錠し、解錠ランプが消灯します。

（6）全ての電気錠を一斉に解錠する（盤面操作）

○操作パネルの「一斉解錠ボタン」を押します。

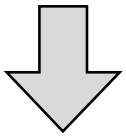






○警報ブザーが鳴ります。

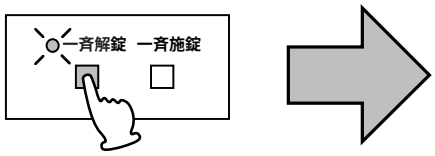
○一斉解錠ランプが点滅します。
全ての電気錠が解錠し、全ての解錠ランプが点灯します。
（未使用回線は除く）

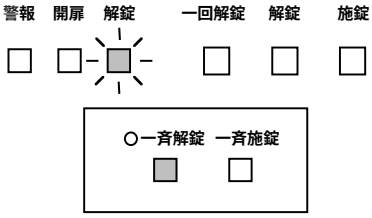


※警報ブザーはブザー停止ボタンを押すと鳴り止みます。
ブザー停止ボタンを押さなかった場合は約10分後に鳴り止みます。

○ 復帰するには

方法１：再度、一斉解錠ボタンを押します。

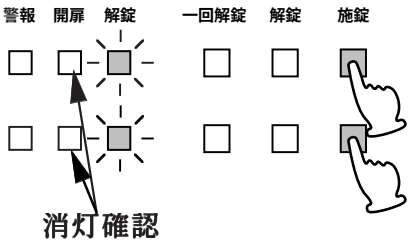




○一斉解錠ランプが消灯します。

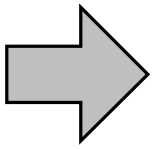
○全ての電気錠は解錠したままです。

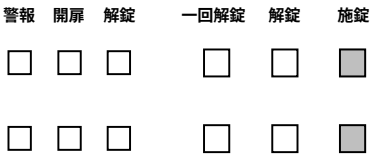
○各回線の施錠ボタンを押します。



消灯確認

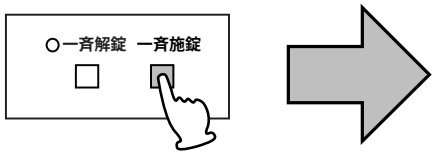
※扉が開いているところは施錠できません。

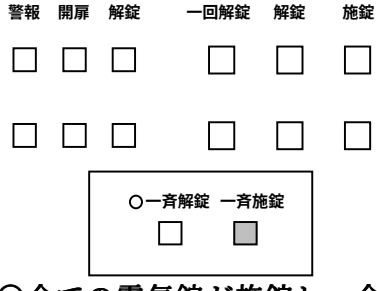




○各回線の電気錠が施錠し、解錠ランプが消灯します。

方法２：一斉施錠ボタンを押します。





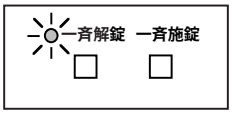
※扉が開いているところは施錠できません。

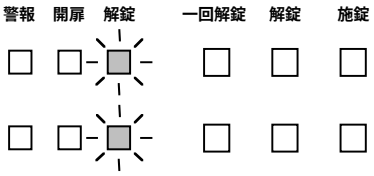
○全ての電気錠が施錠し、全ての解錠ランプは消灯します。

（7）全ての電気錠を一斉に解錠する（外部よりの信号）

○一斉解錠入力端子（火報信号）で解錠する

○外部機器で一斉解錠操作（例：火報発報）をする
またはＴ２端子をﾒｲｸ／ﾌﾞﾚｲｸする。





○一斉解錠ランプが点灯し、全ての電気錠が解錠します。

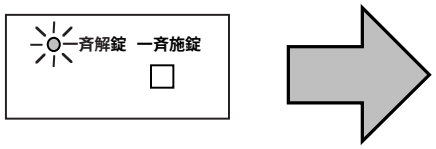
○全ての解錠ランプも点灯します。
（未使用回線は除く）

○警報ブザーが鳴ります。

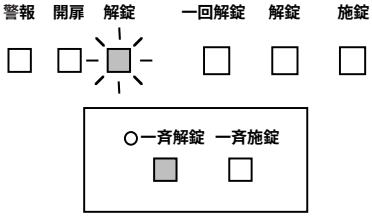
※警報ブザーはブザー停止ボタンを押すと鳴り止みます。
ブザー停止ボタンを押さなかった場合は約10分後に鳴り止みます。

○復帰するには

方法１：信号入力を切ります。

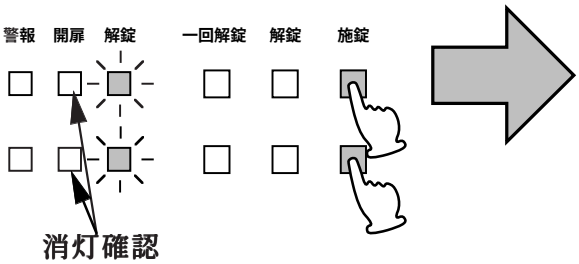


○一斉解錠ランプが消灯します。



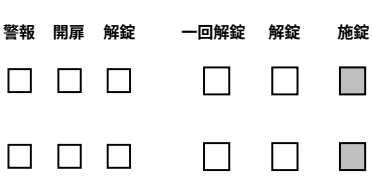
○全ての電気錠は解錠したままです。

○各回線の施錠ボタンを押します。



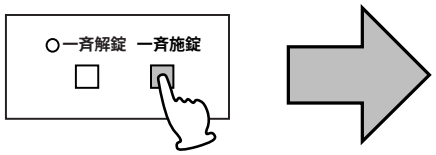
消灯確認

※扉が開いているところは施錠できません。

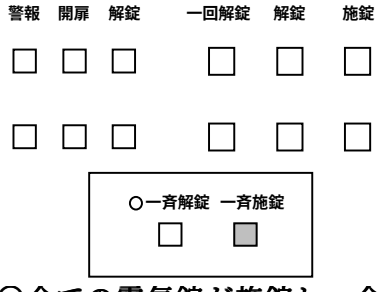


○各回線の電気錠が施錠し、解錠ランプが消灯します。

方法２：一斉施錠ボタンを押します。



※扉が開いているところは施錠できません。



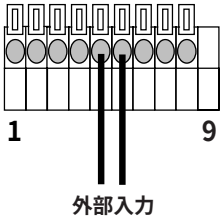
○全ての電気錠が施錠し、全ての解錠ランプは消灯します。

（8）外部入力による施解錠（個別回線）

○回線毎に動作確認を行います。

○インターホン入力を入力する

Ｔ１０２～Ｔ４０２

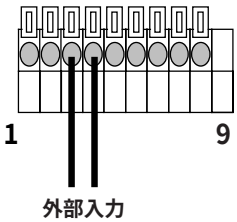


（無電圧ａ接点瞬時入力、0.2秒以上）

○各回線のＴ１０２～Ｔ４０２の５番、６番端子をメイクします。（瞬時メイク：0.2秒以上）
Ａモードでは一回解錠動作。
Ｂモードでは入力がある毎に施解錠を繰り返します。

○タイマー入力を入力する

Ｔ１０２～Ｔ４０２



（無電圧ａ接点連続入力）

○各回線のＴ１０２～Ｔ４０２の３番、４番端子をメイクします。（連続メイク）
Ａモード、Ｂモード共に入力がある間、解錠を保持し、火報信号以外の入力信号を受け付けません。
但し、連続解錠入力優先設定を否優先にしている場合は後操作が優先になります。
タイマー信号が入力しているときでも、他の入力操作により、施解錠動作を行います。

○ＪＥＭ－Ａ端子を入力する（ＨＡ機器を操作する）

ＣＮ１０１～ＣＮ４０１

○各回線のＣＮ１０１～ＣＮ４０１に接続されているＨＡ機器を操作すると、インターホン入力と同じ動作を行います。

（9）警報

個別警報

■　下記の状態になったときに、警報ブザーが鳴動を始め、該当回線の「個別警報出力端子」Ｔ１０２～Ｔ４０２の７・８・９番端子から出力します。

：点灯状態　：高速点滅状態　：点滅状態　：消灯状態　：ブザー鳴動状態

1) 電気錠扉がこじ開けられたとき
（施錠状態のまま開扉されたとき）
設定によりこじ開け警報を使えなくすることもできます。取付・調整説明書１４頁参照。

2) 一回解錠中に規定時間以上、電気錠扉が開放放置されたとき
設定により扉開放警報を使えなくすることもできます。取付・調整説明書１５頁参照。
扉を閉めると警報は消滅します。

3) 電気錠の施錠不良が発生したとき
（電気錠と受座の位置がずれていて施錠できないとき等）
受座の位置調整等で施錠ができると警報は消滅します。

4) 非常開装置付電気錠の非常開装置を操作したとき

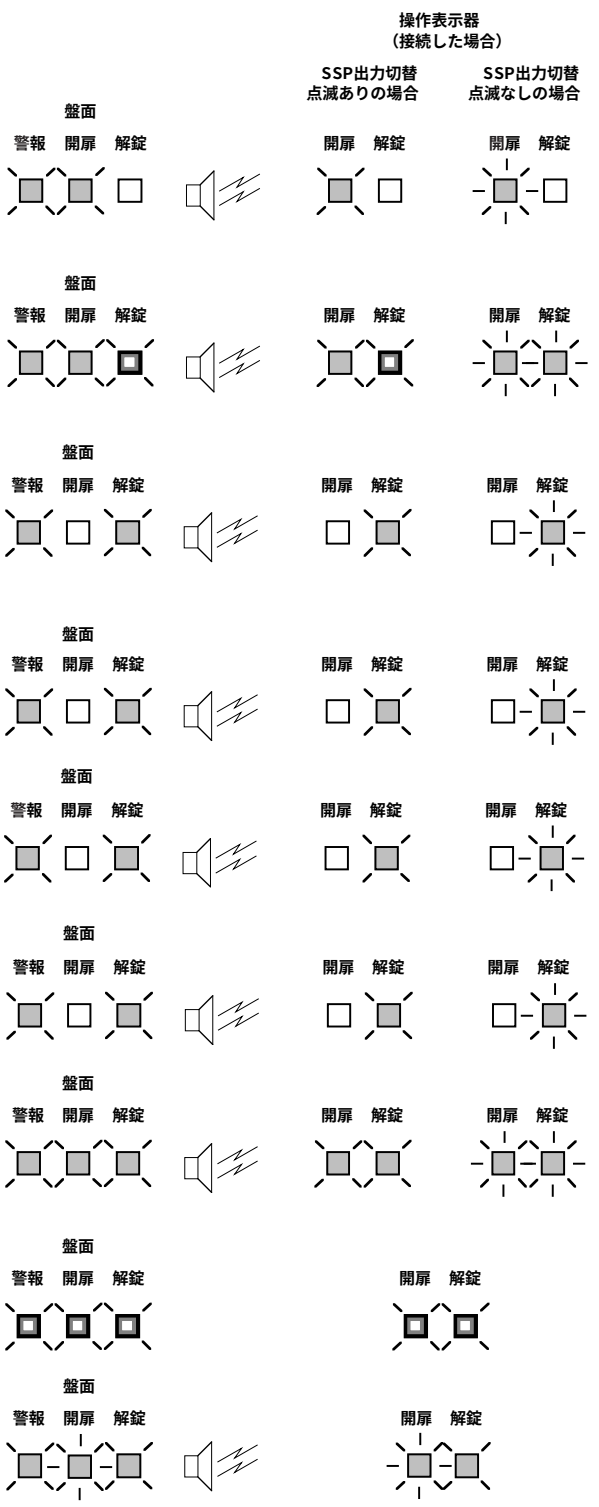
5) 【手動解錠警報の設定が「あり」の場合】サムターンや非常開装置などで、電気錠を解錠したとき

6) 【停電時解錠の設定が「させる」の場合】停電し、電気錠が解錠したとき

7) 操作盤と電気錠間の通線が断線、短絡したとき

8) 錠種判定不能のとき、設定間違いのとき

9) 【センサー監視設定の場合】センサー監視中にセンサーが感知したとき



※警報ブザーを止めると警報ランプは点灯に替わります。

代表警報

〇下記１）～３）の状態になったときに、警報ブザーが鳴動を始め、
「代表警報出力端子」Ｔ３から出力します。

1) 何れかの電気錠扉が下記の警報状態になったとき

・電気錠扉がこじ開けられたとき（施錠状態のまま開扉されたとき）
※電気ストライクはこじ開け警報が機能しません。
※電気錠でこじ開け警報を機能させたくないときは、錠種設定を「２：電気ストライク」にして下さい。

・一回解錠中に規定時間以上、電気錠扉が開放放置されたとき
※開放警報の設定が「なし」になっているときは、警報状態になりません。

・電気錠の施錠不良が発生したとき（電気錠が施錠できないとき）

・非常開装置付電気錠の非常開装置を操作したとき

・【手動解錠警報の設定が「あり」の場合】
サムターンや非常開装置などで、電気錠を解錠したとき

・【停電時解錠の設定が「させる」の場合】
停電し、電気錠が解錠したとき

・操作盤と電気錠間の通線が断線、短絡したとき

・錠種判定不能のとき、設定間違いのとき（警報ブザーは鳴動しません。）

・【センサー監視設定の場合】
センサー監視中にセンサーが感知したとき

該当扉の「警報ランプ」が点滅、点灯します。

2) 一斉解錠したとき／されたとき

3) ＡＣ１００Ｖ電源が断たれたとき(停電したとき）

［復旧］

〇警報ブザーは、操作パネルの「ブザー停止ボタン」を押すことによって鳴動を停止します。（警報ランプ高速点滅→点灯）
「ブザー停止ボタン」を押さなかった場合には、約１０分後に自動停止します。

〇「警報ランプ」は、警報状態が解除された後
「警報表示リセットボタン」を押すことによって消灯します。

〇「個別警報出力端子」および「代表警報出力端子」からの信号出力は、警報状態が解除されたのと同時に止まります。

（10）停電補償

ＡＣ１００Ｖが停電すると、自動的に内部電池に切り替わり約３０分間は操作盤の機能を保証します。
バッテリーにより操作盤が動作しているときは電源ランプが点滅します。

（11）銘板カードの記入

付属の銘板カードは、銘板カードホルダーに入っています。
操作盤フタ裏に銘板カードホルダーがあります。４.操作盤各部の名称、フタ開図参照。

銘板カードの所定の位置に、電気錠扉の室名等を記入の上、銘板カードホルダーに挿入してください。
操作パネル上の「銘板」に、正しい室名等の表示が見えていることをご確認ください。

９．正しい動作をしないとき

（１）操作盤のボタンを押しても電気錠が動作しない場合
操作パネルの電源ランプが点灯（点滅：停電中）しているかご確認ください。

１）電源ランプが消灯している場合
２つの電源スイッチを”入”にしてください。
２つの電源スイッチが”入”になっている場合は、ＡＣ１００Ｖ電源が断たれているとき（停電しているとき）です。
ＡＣ１００Ｖ電源が断たれて、最低３０分はバッテリーで動作しますが、その後電圧が低下すると動作を停止します。

２）電源ランプが点灯しているのに、電気錠が動作しない場合
操作盤内の電源スイッチを”切”にした後、電気錠から操作盤までの配線に導通があるか、また結線が確実に行なわれているかどうかご確認ください。

（２）電気錠の動作が不安定、または不確実な場合
錠（扉）およびストライク（枠）が、正しく取り付けられているか、扉が下がっていないか、丁番のビスがゆるんでないか等をお調べください。

１）扉を開けた状態で、ハンドル（ノブ）を操作したとき、ハンドル（ノブ）の回転はスムースですか？
ラッチボルトの出入りはスムースですか？

２）開扉で、トリガーボルトを押し込み、その状態でそのままラッチボルトを押し込んで離したとき、ラッチボルトは２段飛び出ししますか？

３）扉を閉じたとき、ラッチボルトがストライクの穴に、無理なく納まりますか？
どこか当たったり、擦ったりしているところはありませんか？

４）錠（扉）とストライク（枠）との間が６mm以下になっていますか？

以上、お調べいただいても、不具合が改善されない場合は、美和ロック本社・支店・営業所までお問い合わせください。

10．オプション部品

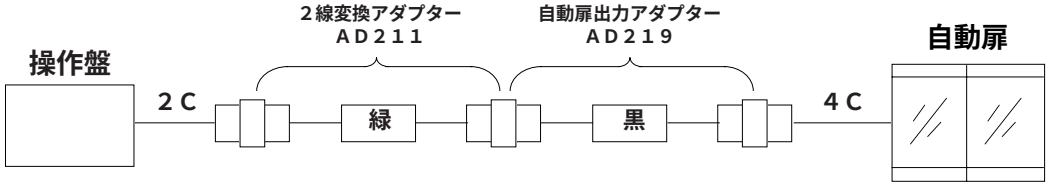
（1）ＡＤ２１９（自動扉出力アダプター）

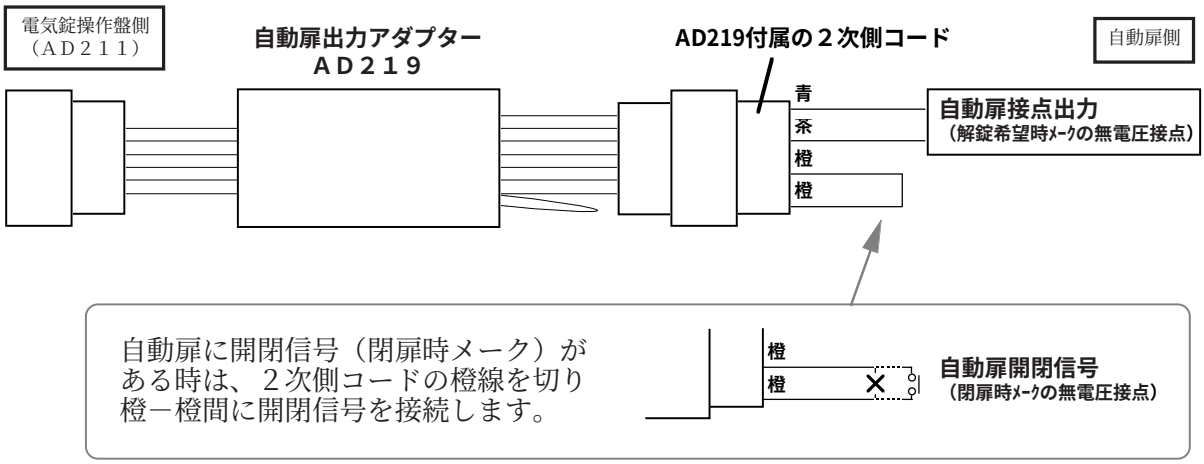
２線変換アダプターに自動扉出力アダプターＡＤ２１９を接続すると自動扉を解錠/施錠できます。

取付・結線の前に操作盤の電源スイッチを切ってください！

ネジや電線カスなどの金属を装置の中に落とさないでください！
発熱・火災などの事故や故障の原因となります。

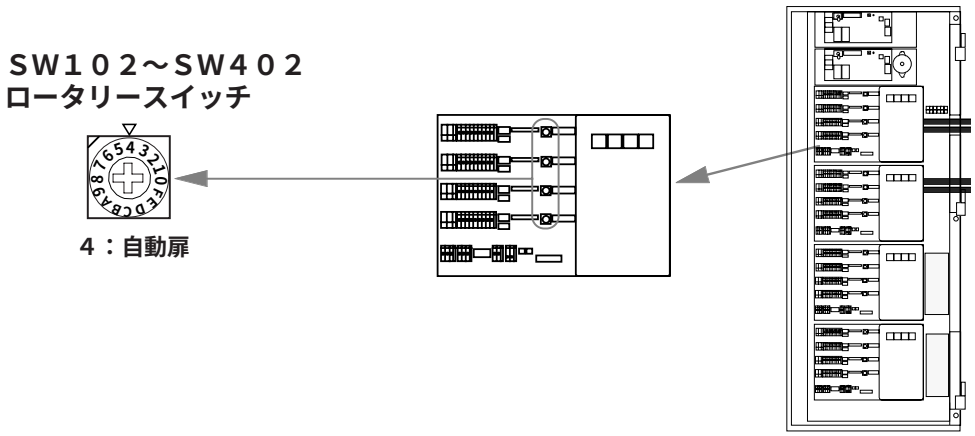
電源ｽｲｯﾁは２個あります。
必ず、２個とも電源ｽｲｯﾁを切って下さい。





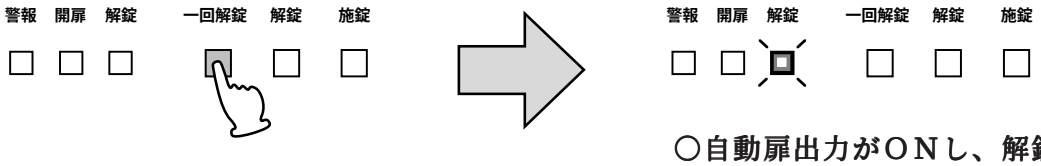
■錠種設定を行う

○「４：自動扉」に設定します。



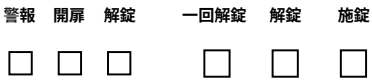
■自動扉を操作盤から解錠する

○操作パネルの「一回解錠ボタン」を押し、解錠する。



○自動扉出力がＯＮし、解錠ランプが点滅します。

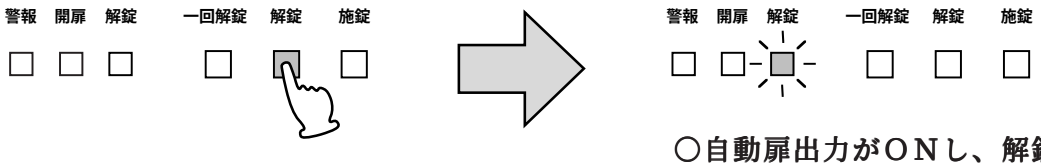
○解錠時間経過後



○設定された解錠時間経過後、自動扉出力がＯＦＦし、解錠ランプが消灯します。

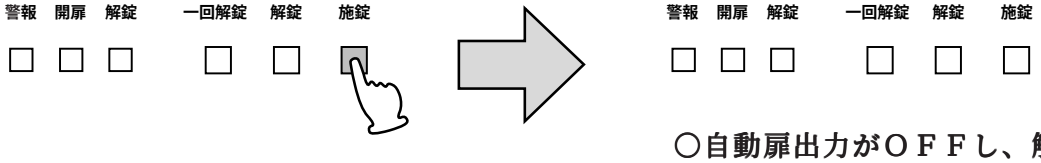
※運用モード設定がＡモードであってもＢモードでも同じ動作となります。

○操作パネルの「解錠ボタン」を押し、解錠する。



○自動扉出力がＯＮし、解錠ランプが点灯します。

○操作パネルの閉扉を確認して「施錠ボタン」を押し、施錠する。

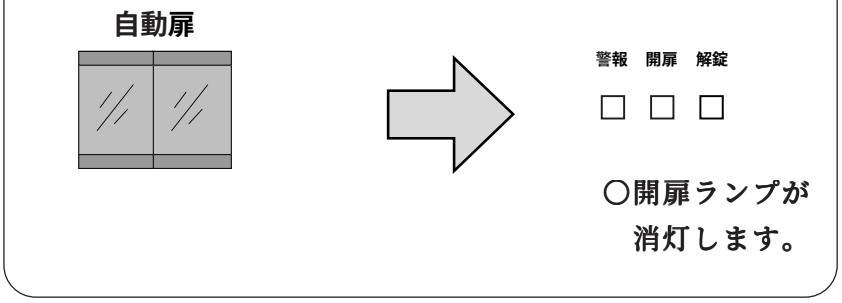


○自動扉出力がＯＦＦし、解錠ランプが消灯します。

■自動扉の開閉状態を操作盤で見る。

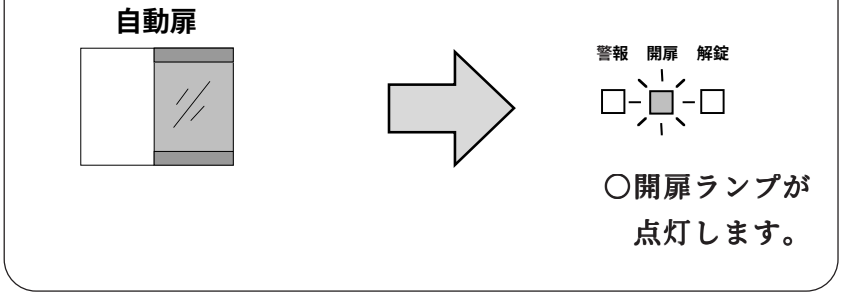
※自動扉出力アダプターＡＤ２１９に自動扉の開閉信号を接続しているときの動作です。

○自動扉が閉まっているとき



○開扉ランプが消灯します。

○自動扉が開いているとき



○開扉ランプが点灯します。

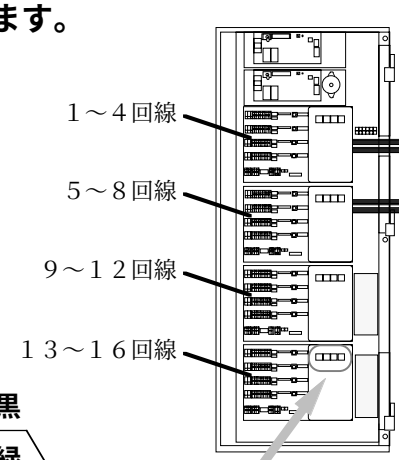
（2）ＳＳＰ－Ｃ１Ｄ（操作表示器）

操作表示器は１回線に５個まで接続できます。総配線長は１００ｍ（導体外径０．９mm）までにしてください。
接点出力基板ＢＡＮ－Ｙ・ＲＯを接続時は操作表示器は４個までの接続になります。

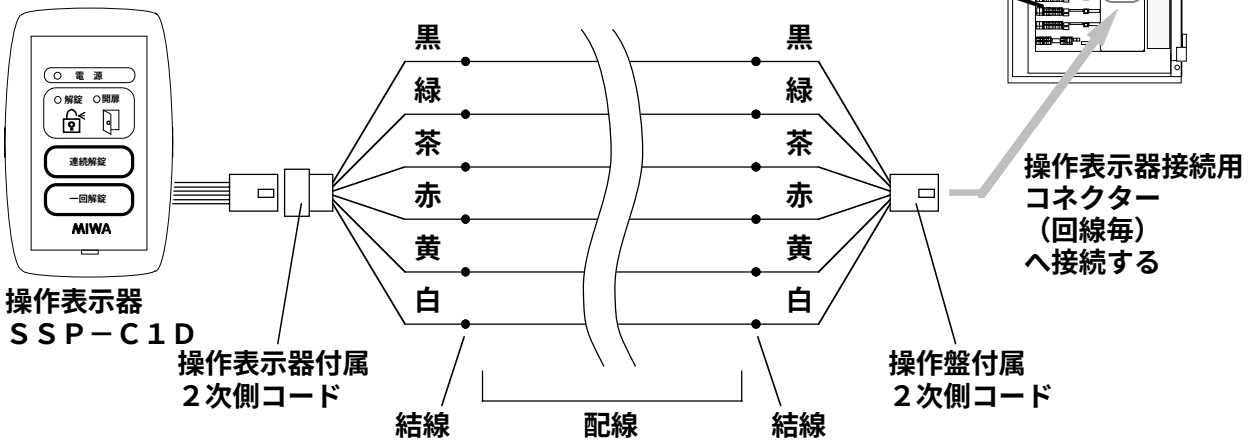
取付・結線の前に操作盤の電源スイッチを切ってください！

ネジや電線カスなどの金属を装置の中に落とさないでください！
発熱・火災などの事故や故障の原因となります。

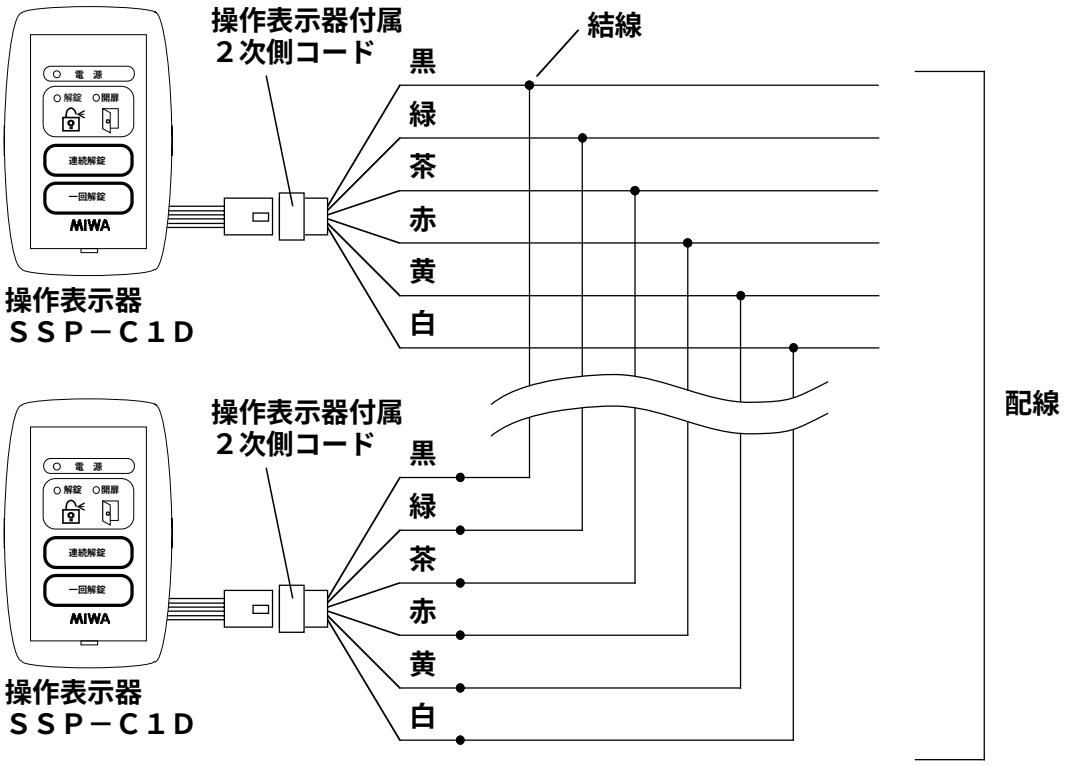
電源ｽｲｯﾁは２個あります。
必ず、２個とも電源ｽｲｯﾁを切って下さい。



○操作表示器を接続する場合は、２次側コネクターを使用し、下記の通り接続してください。
誤結線は、ただちに機器の故障につながります。
確実な確認、結線をお願いします。



○操作表示器を複数個接続する場合は、並列に接続してください。



■ＳＳＰ－Ｃ１Ｄ（操作表示器）の使い方

操作表示器では、電気錠の施解錠操作と状態表示ができます。
操作表示器ＳＳＰ－Ｃ１Ｄは運用モードにより、操作方法が異なります。

○閉扉自動施錠（Ａモード）の場合
操作表示器では、上側のボタン操作で「連続解錠」が行えます。
下側のボタン操作で「一回解錠」が行えます。

連続解錠とはボタン操作により、電気錠が解錠します。
扉を何度開閉しても、電気錠は解錠のままです。
施錠するには再度ボタン操作をしてください。
扉が閉まっていれば施錠します。また、扉が開いている場合は扉が閉まったときに施錠します。

※自動扉の場合は扉の開閉に関係なく、自動扉出力をＯＦＦします。

一回解錠とはボタン操作により、電気錠を設定された解錠時間内だけ解錠します。解錠後、扉を開け、再度扉を閉めると自動的に施錠します。扉を開けなかった場合は設定された解錠時間が経過すると自動的に施錠します。

※自動扉の場合は扉の開閉に関係なく、自動扉出力をＯＦＦします。

Ａモード
操作表示器

○施解錠繰り返し（Ｂモード）の場合
操作表示器では、上側のボタン操作で「施錠」が行えます。
下側のボタン操作で「解錠」が行えます。

施錠とはボタン操作により、電気錠が施錠します。
扉が閉まっていれば、電気錠は施錠します。
扉が開いている場合は、扉が閉まっても解錠のままです。
（扉が開いている場合は操作が無効になります）

※自動扉の場合は扉の開閉に関係なく、自動扉出力をＯＦＦします。

解錠とはボタン操作により、電気錠が解錠します。
扉を何度開閉しても、電気錠は解錠のままです。

Ｂモード
操作表示器

参考：操作表示器ＳＳＰ－Ｃ１Ｅを接続すると、Ａモードでは一回解錠、
Ｂモードでは解錠だけができる操作器として利用できます。
・茶色の信号線の接続は不要です。
・ＳＳＰ－Ｃ１Ｄとの混在も可能です。合計５個まで。

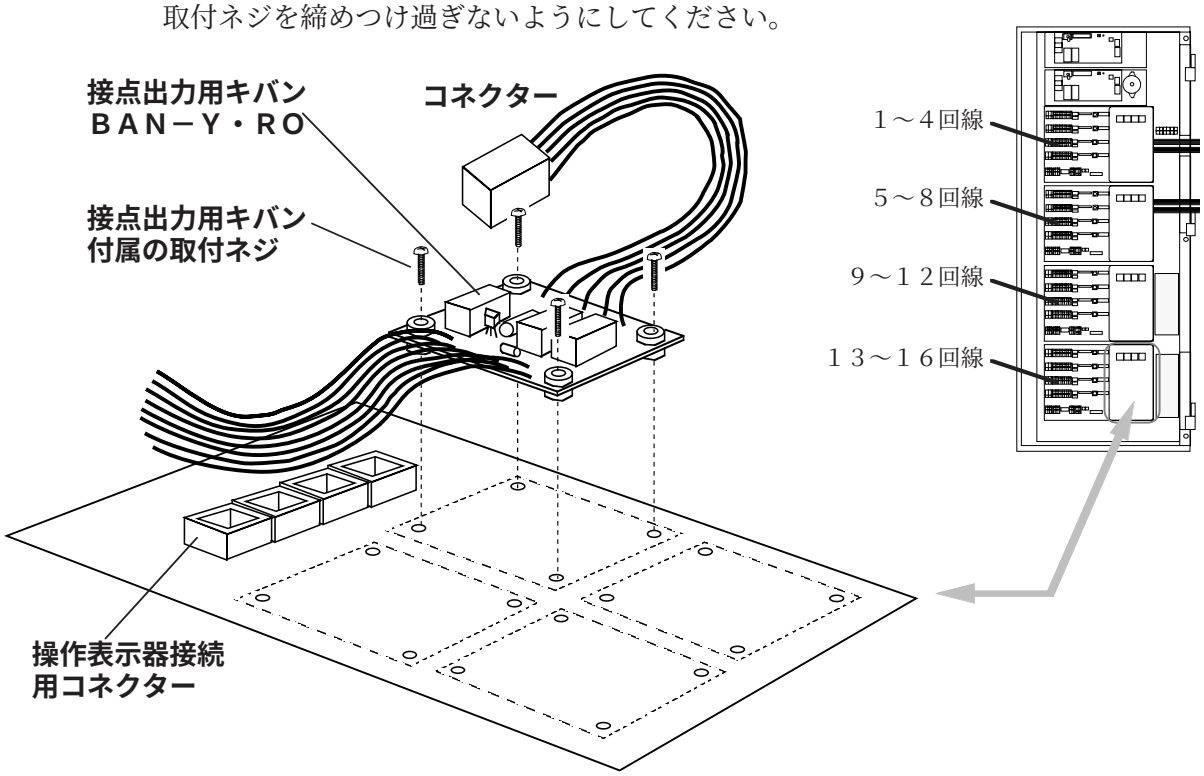
（3）ＢＡＮ－Ｙ・ＲＯ（接点出力用キバン）

取付・結線の前に操作盤の電源スイッチを切ってください！

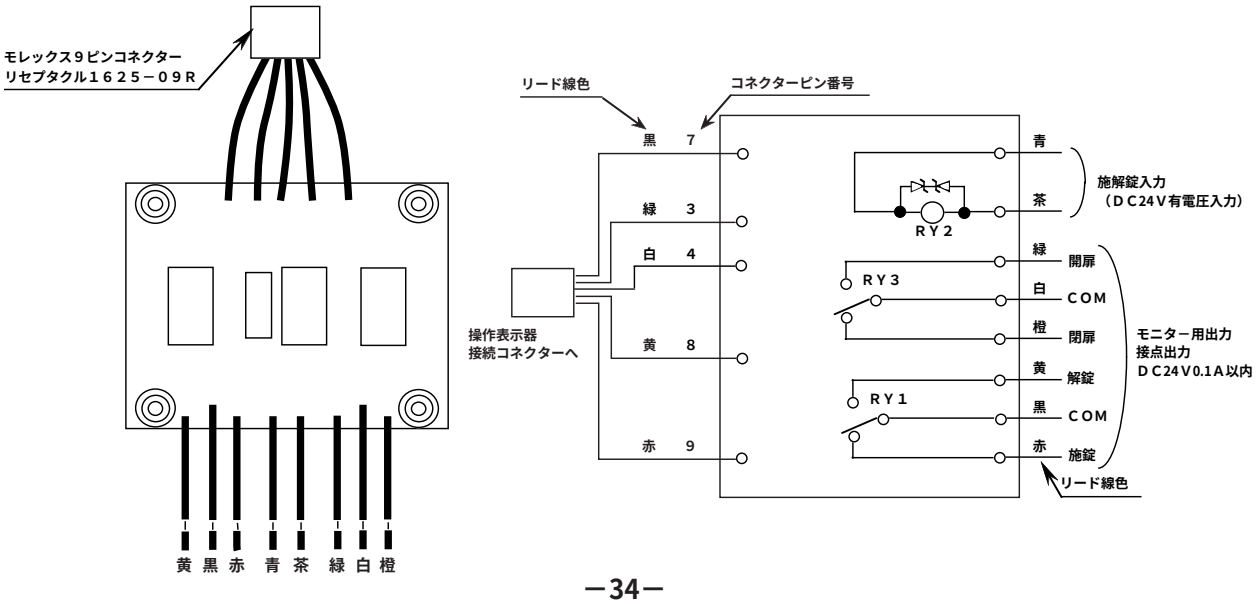
ネジや電線カスなどの金属を装置の中に落とさないでください！
発熱・火災などの事故や故障の原因となります。

電源ｽｲｯﾁは２個あります。
必ず、２個とも電源ｽｲｯﾁを切って下さい。

○接点出力用キバンは下記のように取り付けます。
取付ネジを締めつけ過ぎないようにしてください。



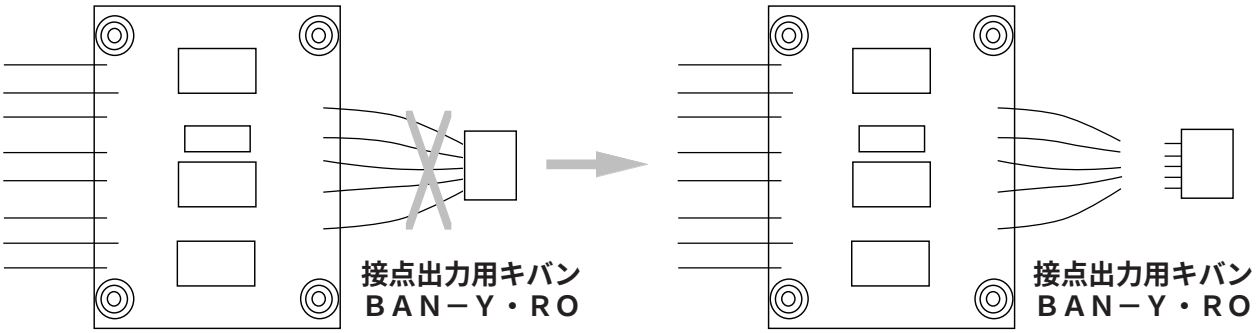
○接点出力用キバンを接続する場合は、接点出力用キバンのコネクターを操作表示器用接続コネクターに接続してください。
各入出力線は下記のリード線に接続してください。
誤結線は、ただちに機器の故障につながります。確実な確認、結線をお願いします。



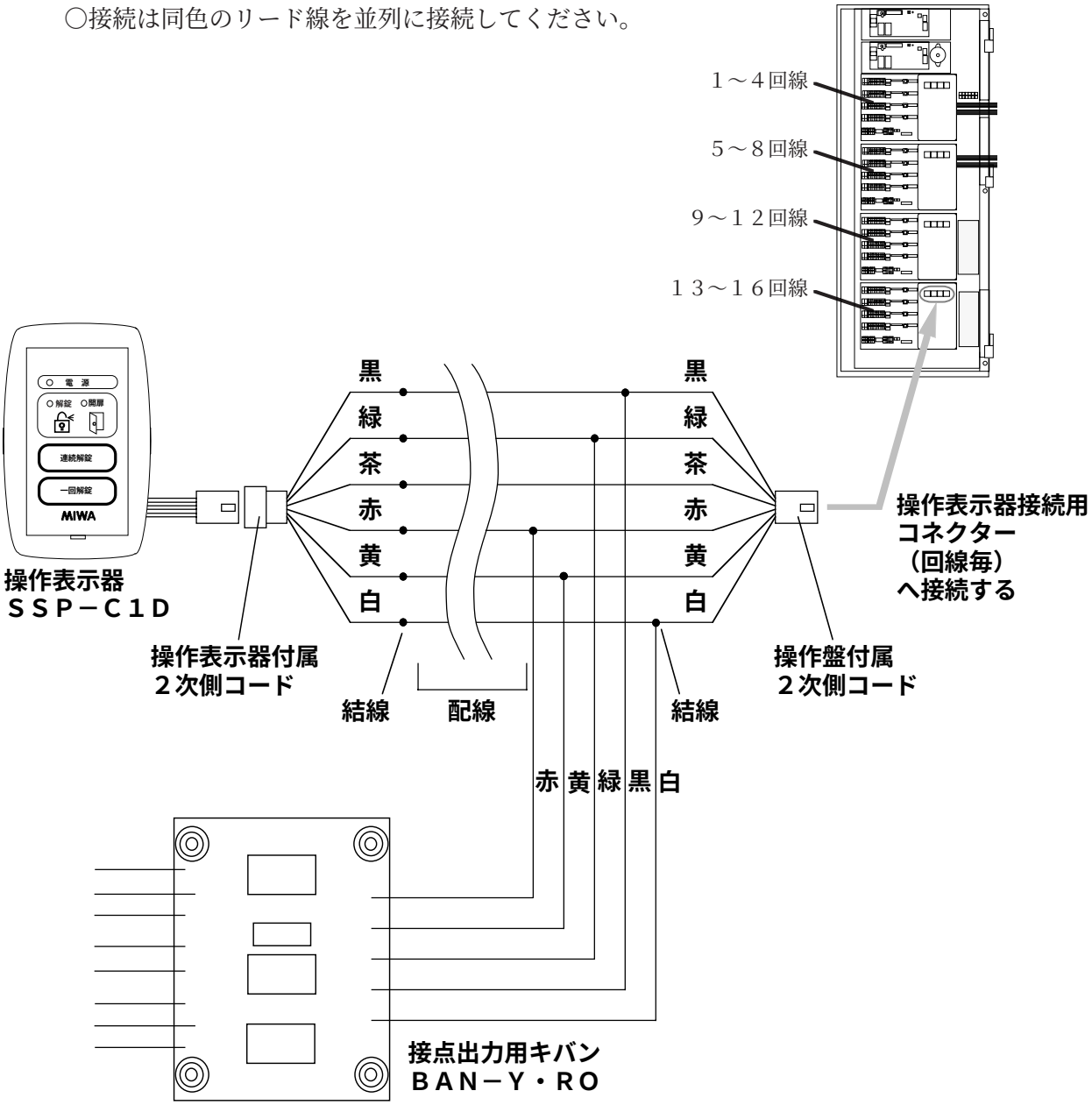
■接点出力用キバンを操作表示器と併用する場合

下記のように接続します。

○接点出力用キバンのコネクターを根本で切断します。



○接続は同色のリード線を並列に接続してください。



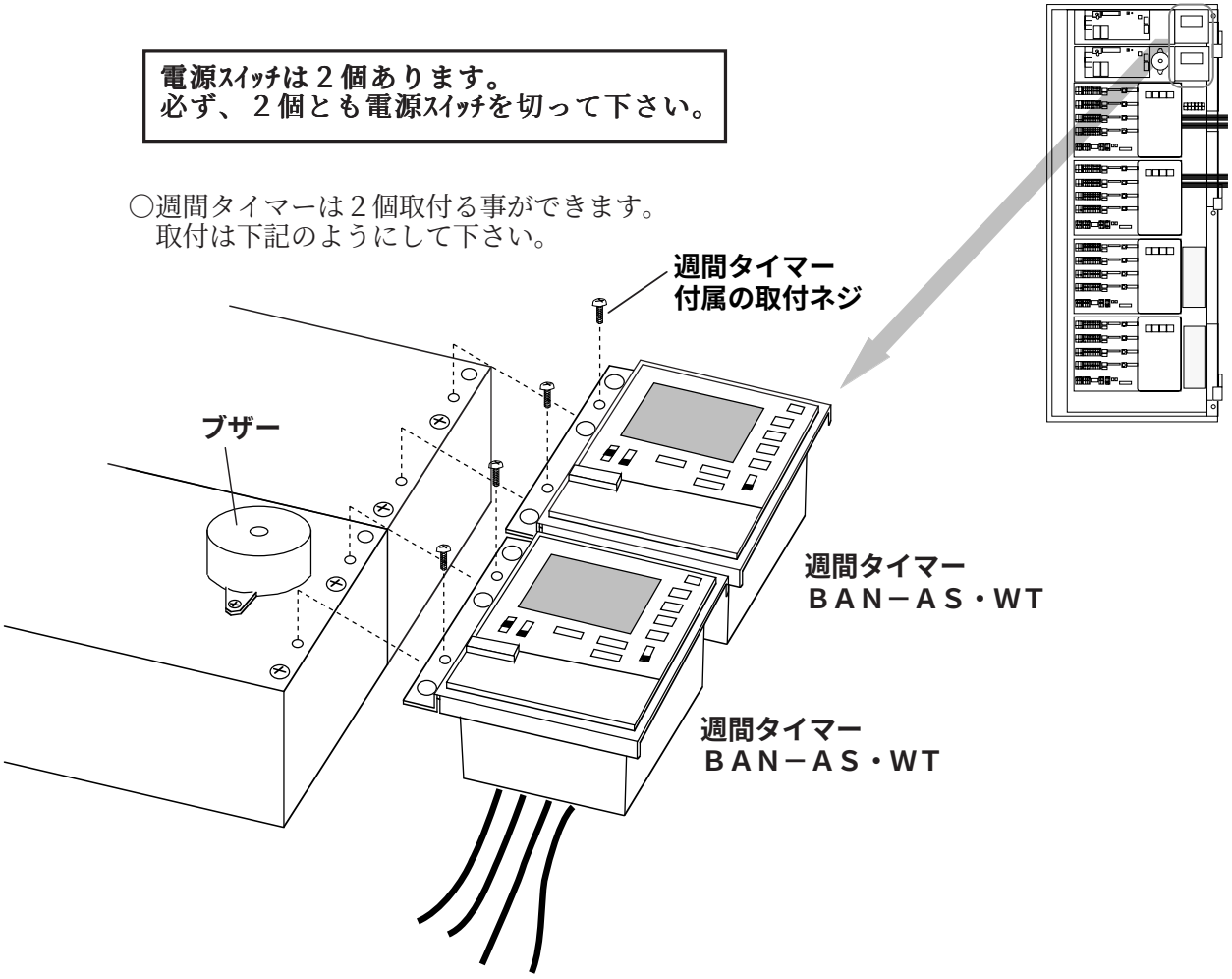
（4）ＢＡＮ－ＡＳ・ＷＴ（週間タイマー）

取付・結線の前に操作盤の電源スイッチを切ってください！

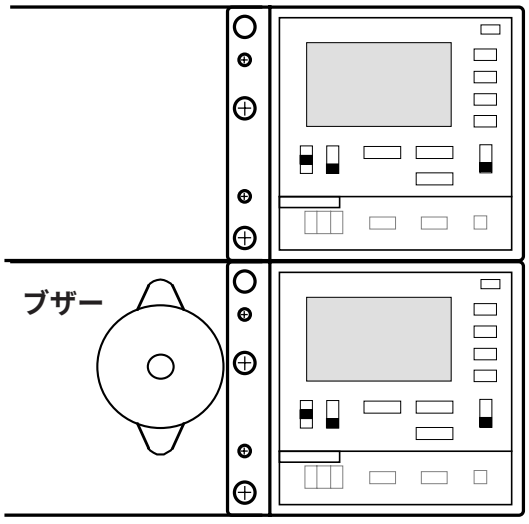
ネジや電線カスなどの金属を装置の中に落とさないでください！
発熱・火災などの事故や故障の原因となります。

電源ｽｲｯﾁは２個あります。
必ず、２個とも電源ｽｲｯﾁを切って下さい。

○週間タイマーは２個取付る事ができます。
取付は下記のようにして下さい。



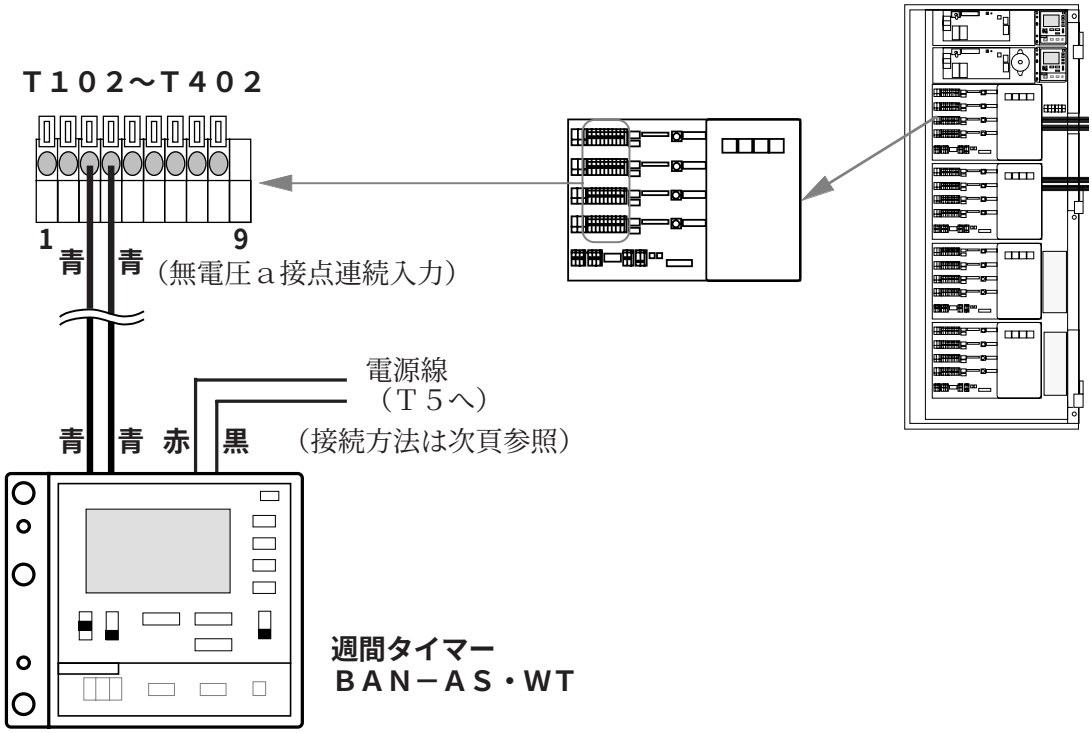
○取付終了時（正面からの図）



■週間タイマーを接続する
電源ラインと接点信号ラインを別々に下記の通り接続してください。
誤結線は、ただちに機器の故障につながります。
確実な確認、結線をお願いします。

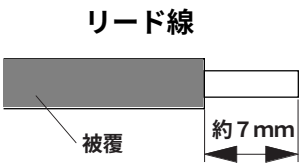
○タイマーの接点信号を結線する

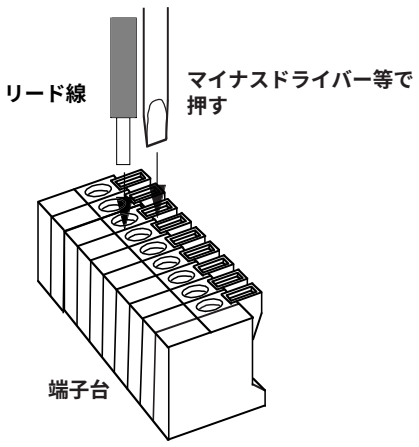
タイマーの接点信号はタイマー制御を行いたい回線の端子台**Ｔ１０２～Ｔ４０２**の
３、４番端子に接続します。



○端子台結線方法　端子台**Ｔ１０２～Ｔ４０２**は差し込み式端子台です。

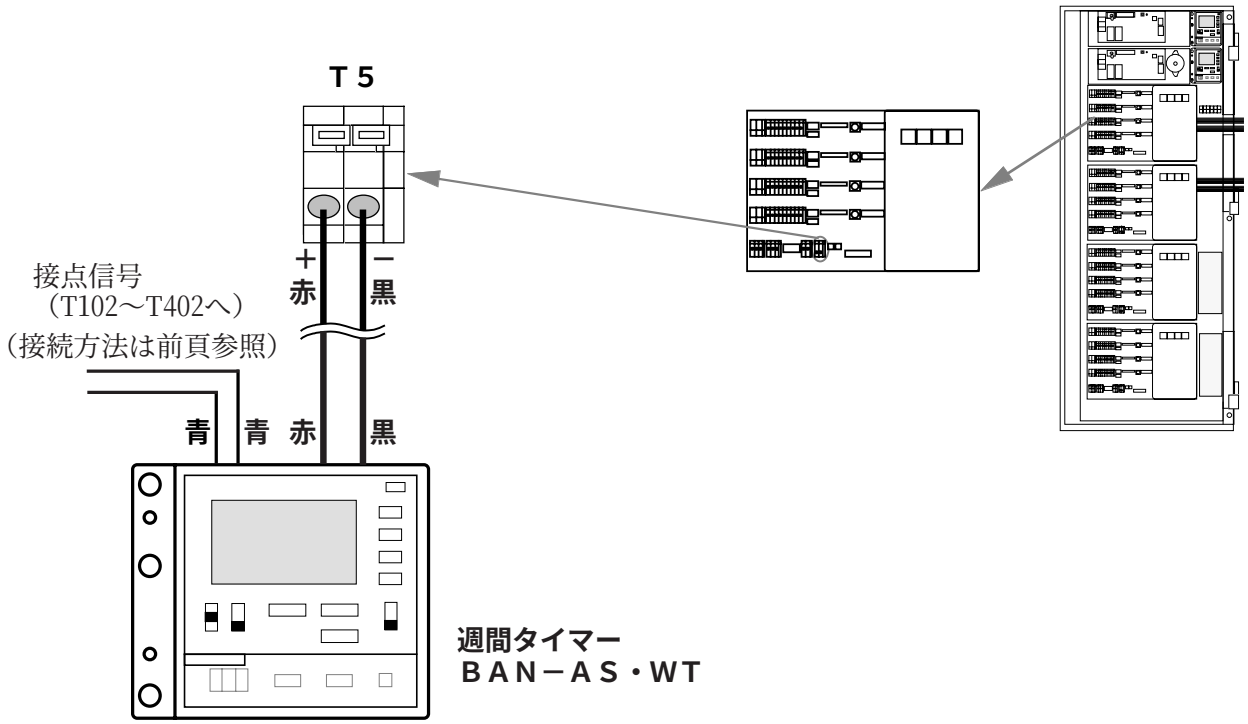
１）リード線の被覆を約７mmむいて芯線を出します。
２）端子台上部の開放レバーをマイナスドライバー等で押します。
３）リード線を端子接続スペースに挿入します。
４）リード線が端子接続スペースに入ったら、マイナスドライバー等を離してください。
５）リード線を引っ張り、芯線がしっかり噛み込まれていることを確認してください。





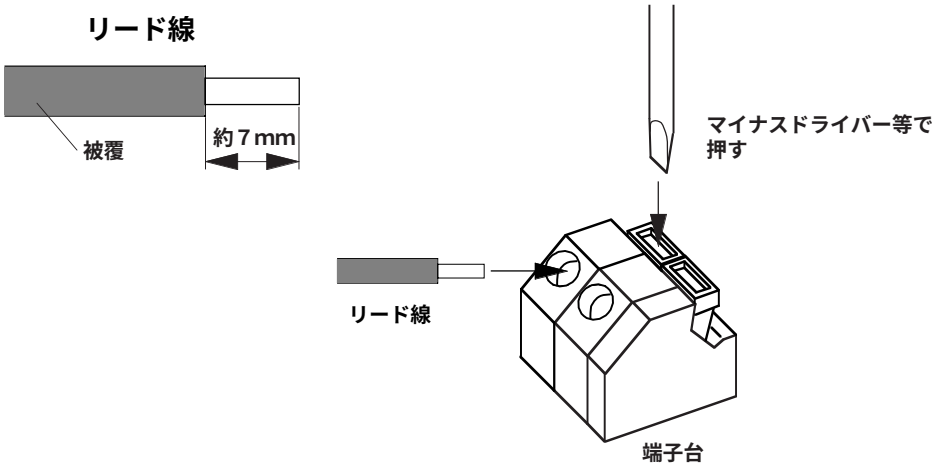
○タイマーの電源線を結線する

タイマーの電源線は**Ｔ５**の端子に接続します。
電源線には極性があります。極性を正しく接続してください。



○端子台結線方法　端子台**Ｔ５**は差し込み式端子台です。

１）リード線の被覆を約７mmむいて芯線を出します。
２）端子台上部の開放レバーをマイナスドライバー等で押します。
３）リード線を端子接続スペースに挿入します。
４）リード線が端子接続スペースに入ったら、マイナスドライバー等を離してください。
５）リード線を引っ張り、芯線がしっかり噛み込まれていることを確認してください。



■週間タイマーの取り扱いは週間タイマーの取扱説明書をご参照ください。

11．防犯センサーの監視

（1）結線する

取付・結線の前に操作盤の電源スイッチを切ってください！

ネジや電線カスなどの金属を装置の中に落とさないでください！
発熱・火災などの事故や故障の原因となります。

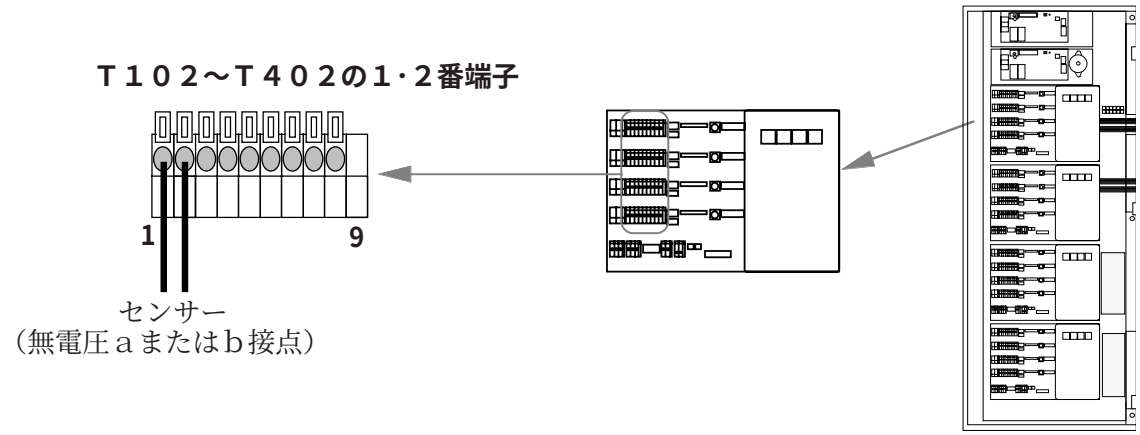
電源ｽｲｯﾁは２個あります。
必ず、２個とも電源ｽｲｯﾁを切って下さい。

＜結線を行う前に＞

○センサーの信号が無電圧接点出力であることを確認してください。
○操作盤とセンサー間の通電に問題がないことを確認してください。
　１）通電が地絡していないことを確認する。
　　各通線とアース線間に導通がないことを確認してください。
　２）通線が短絡していないことを確認する

■センサーを接続する

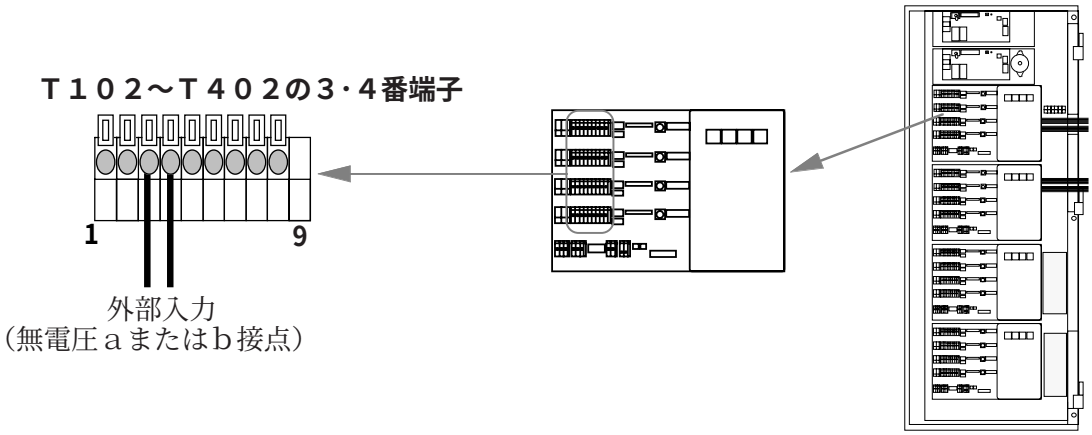
○センサーは、各端子台**Ｔ１０２～Ｔ４０２**の１、２番端子に接続します。



■外部操作スイッチを接続する

外部からの信号でセンサー監視／否監視させる場合に接続します。
接点定格DC30V 0.1A以上の無電圧接点を接続してください。

○外部操作スイッチは、各端子台**Ｔ１０２～Ｔ４０２**の３、４番端子に接続します。

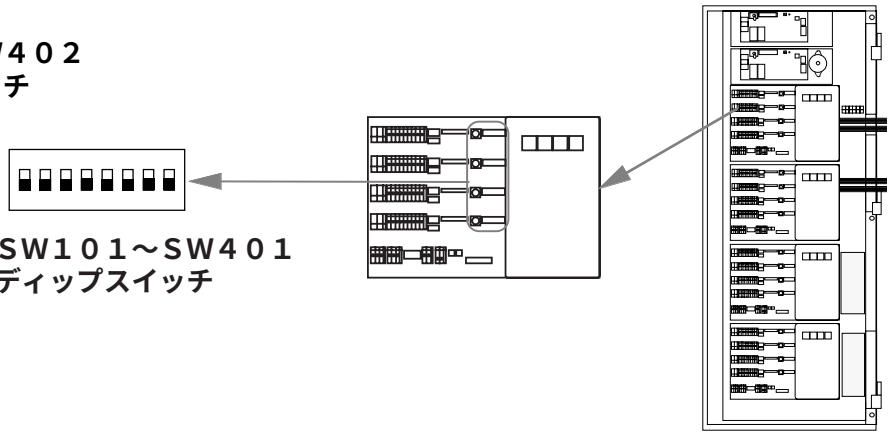


（2）設定を行う

電源をＯＦＦ！
電源を切らずに設定変更しても無効です。

ＳＷ１０２～ＳＷ４０２
ロータリースイッチ

ＳＷ１０１～ＳＷ４０１
ディップスイッチ



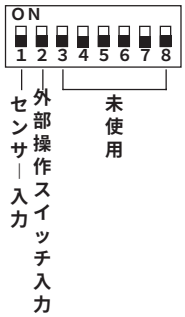
■錠種設定を行う

ＳＷ１０２～ＳＷ４０２
ロータリースイッチ

５：監視

■入力信号を設定する

ＳＷ１０１～ＳＷ４０１
ディップスイッチ

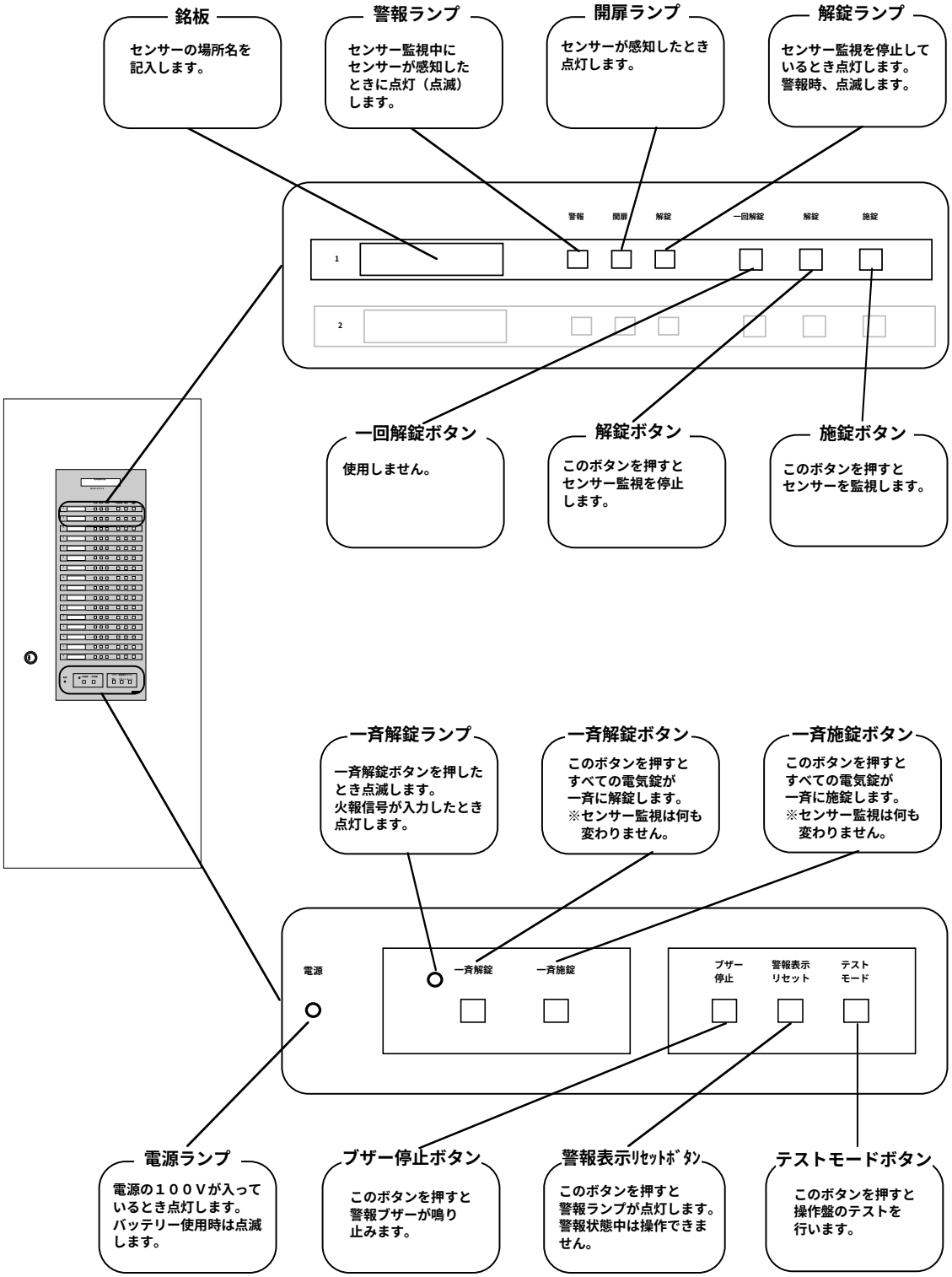


出荷時設定

設定方法

ｽｲｯﾁ番号	設定種類
1	センサー入力　a接点 (警報時ﾒｰｸ)　b接点 (警報時ﾌﾞﾚｲｸ)
2	外部操作ｽｲｯﾁ入力　a接点 (監視時ﾒｰｸ)　b接点 (監視時ﾌﾞﾚｲｸ)
3～8	未使用　に設定してください

（3）操作盤の見方


銘板
センサーの場所名を記入します。
警報ランプ
センサー監視中にセンサーが感知したときに点灯（点滅）します。
開扉ランプ
センサーが感知したとき点灯します。
解錠ランプ
センサー監視を停止しているとき点灯します。警報時、点滅します。
警報
開扉
解錠
一回解錠
解錠
施錠
1
2
一回解錠ボタン
使用しません。
解錠ボタン
このボタンを押すとセンサー監視を停止します。
施錠ボタン
このボタンを押すとセンサーを監視します。
一斉解錠ランプ
一斉解錠ボタンを押したとき点滅します。火報信号が入力したとき点灯します。
一斉解錠ボタン
このボタンを押すとすべての電気錠が一斉に解錠します。※センサー監視は何も変わりません。
一斉施錠ボタン
このボタンを押すとすべての電気錠が一斉に施錠します。※センサー監視は何も変わりません。
電源
一斉解錠
一斉施錠
ブザー停止
警報表示リセット
テストモード
電源ランプ
電源の１００Ｖが入っているとき点灯します。バッテリー使用時は点滅します。
ブザー停止ボタン
このボタンを押すと警報ブザーが鳴り止みます。
警報表示ﾘｾｯﾄﾎﾞﾀﾝ
このボタンを押すと警報ランプが点灯します。警報状態中は操作できません。
テストモードボタン
このボタンを押すと操作盤のテストを行います。

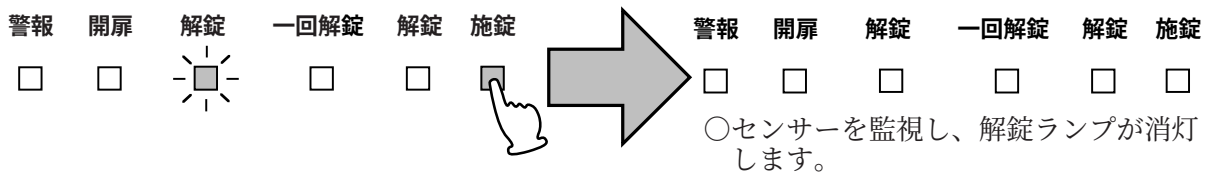
（4）センサー監視の動作

■センサーを監視する

この操作をすると、センサーが感知したときに表示とブザーで警報をお知らせします。

：点灯状態　：高速点滅状態　：点滅状態　□：消灯状態　：ブザー鳴動状態

施錠ボタンを押します



○センサーを監視し、解錠ランプが消灯します。

センサーが感知したとき

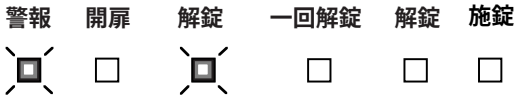
○開扉ランプが点灯し、警報ランプと解錠ランプが点滅します。

○ブザーが鳴ります。

※警報ブザーはブザー停止ボタンを押すと鳴り止みます。
ブザー停止ボタンを押さなかった場合は

約10分後に鳴り止みます。

センサー感知が切れたとき

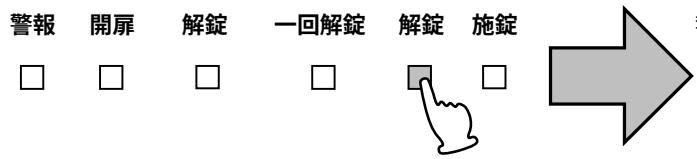


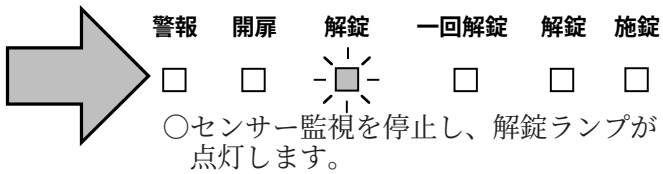
○開扉ランプが消灯します。

■センサー監視を停止させる

この操作をすると、センサーが感知しても警報を発しません。

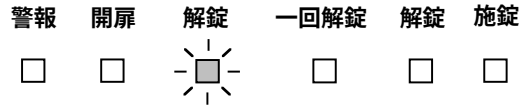
解錠ボタンを押します





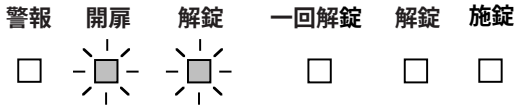
○センサー監視を停止し、解錠ランプが点灯します。

センサーが感知していないとき



○開扉ランプが消灯しています。

センサーが感知しているとき



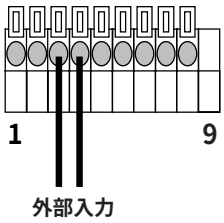
○開扉ランプが点灯しています。

（5）外部操作スイッチによるセンサー監視／監視停止

○回線毎に動作確認を行います。

○外部操作入力を入力する

Ｔ１０２～Ｔ４０２



（無電圧ａまたはｂ接点）

○各回線のＴ１０２～Ｔ４０２の３番、４番端子に接点を入力します。

［設定がａ接点の場合］

３番、４番端子をメイクすると、センサーを監視します。

［設定がｂ接点の場合］

３番、４番端子をメイクすると、センサー監視を停止します。

※外部操作スイッチで「センサー監視」にしているときは、他操作を受付けません。
（外部操作スイッチを切るまで、センサー監視状態です。）

（6）ＳＳＰ－Ｃ１Ｄ（操作表示器）の使い方

操作表示器からも、センサーの監視／監視停止操作ができます。
また、センサーの状態、監視／監視停止の状態が確認できます。

○センサー監視／監視停止操作
上側のボタンを押すと、センサーを監視します。
下側のボタンを押すと、センサー監視を停止します。

○状態確認
センサーが感知すると、　開扉ランプが点灯します。
センサー感知が切れると、　〃　消灯します。

センサーを監視しているときは、解錠ランプが消灯します。
監視を停止しているときは、　〃　点灯します。

※センサー監視中にセンサーに異常が発生した場合は、
解錠ランプが高速点滅します。

操作表示器

12．機器仕様

管理ゲート			１６ゲート
基本機能			電気錠または電気ストライクの制御
外部入出力			ｲﾝﾀｰﾎﾝ入力　：無電圧Ａ接点　瞬時　ＤＣ３０Ｖ　0.1Ａ以上 ﾀｲﾏｰ入力　：無電圧Ａ接点　連続　ＤＣ３０Ｖ　0.1Ａ以上 一斉解錠入力：無電圧ＡまたはＢ接点　連続　ＤＣ３０Ｖ　0.1Ａ以上 JEM-A端子　：JEM-A準拠のコネクタ 警報出力　：無電圧Ｃ接点　連続　ＤＣ３０Ｖ　0.5Ａ以内 代表警報出力：無電圧Ｃ接点　連続　ＤＣ３０Ｖ　0.5Ａ以内
制御電気錠			美和ロックの電気錠（ALX,ALKを除く）または電気ストライク（ASEを除く）
一般仕様	箱	材質	ＳＰＣＣ　ｔ1.6
		仕上	本体：ライトイエロー（メラミン樹脂焼付　マンセル2.5Ｙ９／１　近似色　半ツヤ）
			操作部：ダークグレー（ポリエステルシート、白抜き文字）
	使用温湿度		０℃～＋５０℃、３０～９０ＲＨ　結露なき事
	電源		ＡＣ１００Ｖ±１０％　５０／６０Ｈｚ　消費電力４４０ＶＡ
	外形寸法		４００（Ｗ）×１０００（Ｈ）×１２０（Ｄ）　屋内壁面取付
	重量		約４０Ｋｇ

13．バッテリーの寿命について

バッテリーには使用頻度に関わらず、『寿命』があります。停電補償機能を維持するため、２年ごとの交換をおすすめします。交換のご用命は美和ロック㈱本社、支店、営業所にご連絡ください。

※廃棄方法について
　バッテリーは産業廃棄物に指定されており、廃棄には特別な処理が必要です。
　廃棄する場合は美和ロック㈱本社、支店、営業所にご連絡ください。

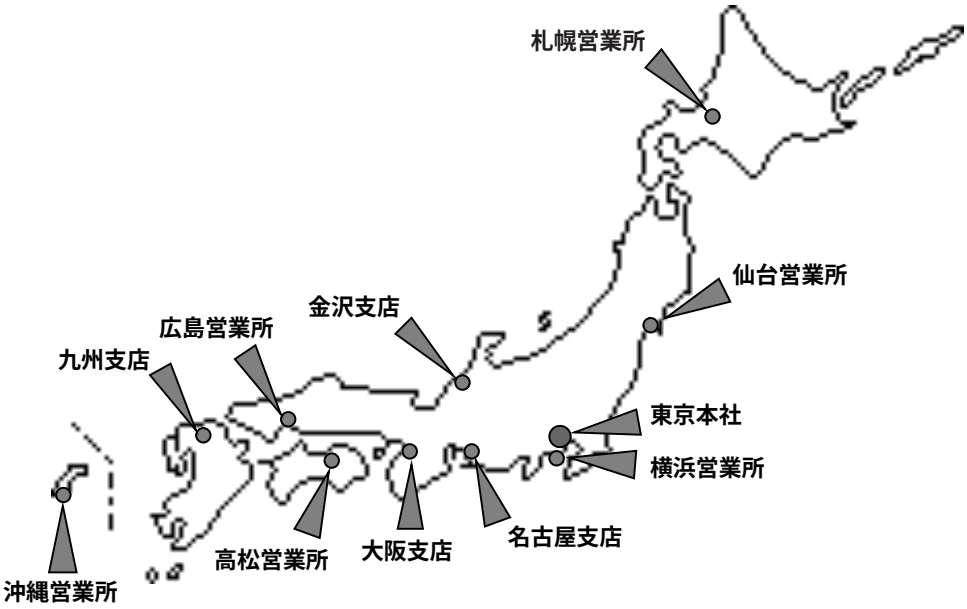
14．お客様へ保守契約のご案内

　この度は美和ロック製品のお買い上げありがとうございます。
弊社では製品をご購入いただきましたお客様に弊社製品を末永くお使いいただけるよう保守点検契約をおすすめしております。
設置状況、使用環境等で思わぬトラブルが発生してしまうこともあります。
安心とコストの両面からぜひとも保守点検契約をおすすめします。

そのメリットは
1.常にベストの状態で製品を使え、製品の寿命を最大限のばせること。
2.突然の故障を未然に防ぐのでトラブルや予定外の出費を抑えられること。
3.交換部品の取替え工事費がスポット対応よりも格安であること。
などで大変有利になっております。
保守点検作業は美和ロック株式会社サービス部または美和ロックが信頼度、技術力を認証している全国約700店（平成10年現在）の美和ロックサービス代行店が行いますので安心です。
ご契約につきましては美和ロック(株)本社、支店、営業所へお問い合わせください。

本社・支店・営業所

日本の主要都市に広がる当社の支店、営業所と合わせ、さらに全国各地に展開する
当社の販売店およびサービス代行店が、全国的なネットワークを形成しています。
受注から納品、そしてアフターサービスまで、お得意様のご要望にいつでも
どこでもスピーディに応じられるよう万全の体制づくりに努めております。



美和ロック株式会社

本　社：東　京：東京都港区芝３丁目１番１２号　〒105―8510　電話：０３（３４５２）５５５１（代）
支　店：金　沢：金沢市東力４丁目２００番地　〒921―8016　電話：０７６（２９２）０００７（代）
名古屋：名古屋市千種区千種３丁目３７番１３号　〒464―0858　電話：０５２（７３１）０５５５（代）
大　阪：大阪市城東区東中浜５丁目７番３５号　〒536―0023　電話：０６（６９６２）５５５１（代）
九　州：福岡市中央区大手門２丁目４番１４号　〒810―0074　電話：０９２（７４１）５５５１（代）
営業所：札　幌：札幌市中央区北５条西１９丁目２６番２４号　〒060―0005　電話：０１１（６２１）５１５５（代）
仙　台：仙台市青葉区一番町１丁目１４番２３号　〒980―0811　電話：０２２（２２４）５５５１（代）
横　浜：横浜市保土ケ谷区上星川町３３０番地４　〒240―0042　電話：０４５（３８１）５５５２（代）
広　島：広島市西区中広町３丁目３番２号　三進ビル内　〒733―0012　電話：０８２（２９５）５５５１（代）
高　松：高松市今里町２丁目１０番地２０　〒760―0078　電話：０８７（８６２）５５５１（代）
沖　縄：沖縄県那覇市泊３丁目１番２３号　〒900―0012　電話：０９８（８６７）５５５１（代）